

NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT,
QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,
SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告 (条約第21条(3))

cardboard (17) that is disposed at the position of the lateral portion (16) of the sandal base (11) and firmly fixed to the upper-tier cardboard (15) by a prescribed adhering means; and a lower-tier cardboard (19) that is disposed at the bottom (18) of the sandal base (11) and firmly fixed to the intermediate-tier cardboard (17) by a prescribed adhering means. The sandal strap (12) has rear ends that penetrate the upper-tier cardboard (15) and are fixed to the intermediate-tier cardboard (17) by a prescribed fixing means, while the toe thong (13) has a lower end that penetrates the upper-tier cardboard (15) so as to be fixed to the intermediate-tier cardboard (17) by a prescribed fixing means.

(57) 要約: 【課題】段ボールから作られて草履台としての形態を維持することができるとともに、草履としての機能を保持することができる草履を提供する。【解決手段】草履(10A)は、草履台(11)と鼻緒(12)と前坪(13)とを備えている。草履台(11)は、上下方向へ層状に重なり合って所定の固着手段によって固着された複数枚の段ボールから作られている。上下方向へ層状に重なり合う複数枚の段ボールは、草履台(11)の天(14)に位置する上層段ボール(15)と、草履台(11)の巻(16)に位置して所定の固着手段によって上層段ボール(15)に固着された中層段ボール(17)と、草履台(11)の底(18)に位置して所定の固着手段によって中層段ボール(17)に固着された下層段ボール(19)とから形成されている。鼻緒(12)は、その後端部が上層段ボール(15)を貫通しつつ中層段ボール(17)に所定の固定手段によって固定され、前坪(13)は、その下端部が上層段ボール(15)を貫通しつつ中層段ボール(17)に所定の固定手段によって固定されている。

明 細 書

発明の名称：草履

技術分野

[0001] 本発明は、草履台と鼻緒と前坪とを備えた草履に関する。

背景技術

[0002] スリッパやサンダルに使用する段ボール製の中敷きが開示されている（特許文献1参照）。この中敷きは、後部に周壁を有さず、前部に足覆いを有するスリッパやサンダルの足載せ面に装着される。また、靴の内部に収納される段ボールを利用した中敷きが開示されている（特許文献2参照）。この中敷きは、織布または不織布から作られて靴の内部に収容可能な外形に成形された表層と、段ボール紙のKライナー（クラフトライナ）用材料から作られて靴の内部に収容可能な外形に成形された中間層と、段ボール紙の中芯原紙から作られて靴の内部に収容可能な外形に成形された裏面層とから形成され、表層と中間層と裏面層とが接着層を介して接着されている。この中敷きには、裏面から表層に向かって突出する多数のエンボスが形成されている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開平10-14606号公報

特許文献2：特開2010-200976号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 前記特許文献1や前記特許文献2に開示されている技術は、スリッパやサンダル、靴に使用する段ボールを利用した中敷きであり、それ自体が履物を構成することはない。なお、段ボールはクッション性に優れ、段ボール箱や敷物等に利用される他、その使用後はリデュースやリサイクルされるとともに、古紙としてリサイクルされる。なお、中敷きの他に、草履台に段ボールを使用した場合、市販の草履に比較して廉価に草履を作ることができるが、

着用者の全体重が草履台（段ボール）にかかると、段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れたまま中芯のコルゲート構造が復元することではなく、草履台としての形態を維持することができず、草履としての機能を保持することができない。したがって、履いたり脱いだりを繰り返すことができず、草履として長期間の使用に耐えることができない、

[0005] 本発明の目的は、段ボールから作られ、草履台としての形態を維持することができるとともに、草履としての機能を保持することができる草履を提供することにある。本発明の他の目的は、所定の強度および所定の耐久性を有して履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる草履を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0006] 前記課題を解決するための本発明の前提は、草履台と鼻緒と前坪とを備えた草履である。

[0007] 前記前提における本発明の特徴は、草履台が上下方向へ層状に重なり合っ
て所定の固着手段によって固着された複数枚の段ボールから作られ、鼻緒と前坪とが所定の固定手段によって段ボールに固定されていることにある。

[0008] 本発明の一例としては、上下方向へ層状に重なり合う複数枚の段ボールが、草履台の天に位置する上層段ボールと、草履台の巻に位置して所定の固着手段によって上層段ボールに固着された中層段ボールと、草履台の底に位置して所定の固着手段によって中層段ボールに固着された下層段ボールとから形成され、鼻緒の後端部が上層段ボールを貫通しつつ中層段ボールに所定の固定手段によって固定され、前坪の下端部が上層段ボールを貫通しつつ中層段ボールに前記所定の固定手段によって固定されている。

[0009] 本発明の他の一例としては、上層段ボールが1枚の上層両面段ボールであり、中層段ボールが上下方向へ重なり合う3枚の第1～第3中層両面段ボールであり、下層段ボールが1枚の下層両面段ボールであり、上層両面段ボールのライナーの下面と第1中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第1中層両面段ボールのライナーの下面と第2中

層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されているとともに、第2中層両面段ボールのライナーの下面と第3中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第3中層両面段ボールのライナーの下面と下層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されている。

[0010] 本発明の他の一例として、草履では、上層両面段ボールの目方向と第1中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で上層両面段ボールと第1中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第1中層両面段ボールの目方向と第2中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1中層両面段ボールと第2中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っているとともに、第2中層両面段ボールの目方向と第3中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第2中層両面段ボールと第3中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第3中層両面段ボールの目方向と下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第3中層両面段ボールと下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っている。

[0011] 本発明の他の一例として、草履では、上層両面段ボールの面積と下層両面段ボールの面積とが中層両面段ボールの面積よりも小さく、中層両面段ボールの周縁部が上層両面段ボールおよび下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している。

[0012] 本発明の他の一例として、草履では、第1中層両面段ボールの面積と第3中層両面段ボールの面積とが第2中層両面段ボールの面積よりも小さく、第2中層両面段ボールの周縁部が第1中層両面段ボールおよび第3中層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している。

[0013] 本発明の他の一例として、上層両面段ボールのライナーの上面と下層両面段ボールのライナーの下面とのうちの少なくとも上層両面段ボールのライナーの上面には、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が施されている。

[0014] 本発明の他の一例としては、上層段ボールが上下方向へ重なり合う2枚の

第1および第2上層両面段ボールであり、中層段ボールが上下方向へ重なり合う2枚の第1および第2中層両面段ボールであり、下層段ボールが上下方向へ重なり合う2枚の第1および第2下層両面段ボールであり、第1上層両面段ボールのライナーの下面と第2上層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第2上層両面段ボールのライナーの下面と第1中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第1中層両面段ボールのライナーの下面と第2中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されているとともに、第2中層両面段ボールのライナーの下面と第1下層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第1下層両面段ボールのライナーの下面と第2下層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されている。

[0015] 本発明の他の一例として、草履では、第1上層両面段ボールの目方向と第2上層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1上層両面段ボールと第2上層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第2上層両面段ボールの目方向と第1中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第2上層両面段ボールと第1中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第1中層両面段ボールの目方向と第2中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1中層両面段ボールと第2中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っているとともに、第2中層両面段ボールの目方向と第1下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第2中層両面段ボールと第1下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第1下層両面段ボールの目方向と第2下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1下層両面段ボールと第2下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っている。

[0016] 本発明の他の一例として、草履では、第1および第2上層両面段ボールの面積と第1および第2下層両面段ボールの面積とが第1および第2中層両面段ボールの面積よりも小さく、第1および第2中層両面段ボールの周縁部が第1および第2上層両面段ボールおよび第1および第2下層両面段ボールの

周縁から径方向外方へ延出している。

[0017] 本発明の他の一例として、草履では、第1上層両面段ボールの面積が第2上層両面段ボールの面積よりも小さく、第2下層両面段ボールの面積が第1下層両面段ボールの面積よりも小さく、第2上層両面段ボールの周縁部が第1上層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出し、第1下層両面段ボールの周縁部が第2下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している。

[0018] 本発明の他の一例として、第1上層両面段ボールのライナーの上面と第2下層両面段ボールのライナーの下面とのうちの少なくとも第1上層両面段ボールのライナーの上面には、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が施されている。

発明の効果

[0019] 本発明に係る草履によれば、草履台が上下方向へ層状に重なり合って所定の固着手段によって固着された複数枚の段ボールから作られているから、着用者の全体重が草履台（段ボール）にかかったとしても、複数枚の段ボールによってその体重を支えることができ、段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れることはなく、草履台としての形態を維持することができ、草履としての機能を保持することができる。草履は、上下方向へ重なり合う複数枚の段ボールから作られた草履台が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができることができる。草履は、複数枚の段ボールを上下方向へ層状に重ね、所定の固着手段によってそれら段ボールを固着し、所定の固定手段によって鼻緒と前坪とを段ボールに固定することから作られているから、その作成に手間がかからず廉価に作ることができる。

[0020] 上下方向へ層状に重なり合う複数枚の段ボールが、草履台の天に位置する上層段ボールと、草履台の巻に位置して所定の固着手段によって上層段ボールに固着された中層段ボールと、草履台の底に位置して所定の固着手段によって中層段ボールに固着された下層段ボールとから形成され、鼻緒の後端部が上層段ボールを貫通しつつ中層段ボールに所定の固定手段によって固定さ

れ、前坪の下端部が上層段ボールを貫通しつつ中層段ボールに所定の固定手段によって固定されている草履は、草履台が上下方向へ層状に重なり合う上層段ボールと中層段ボールと下層段ボールとから形成されているから、着用者の全体重が草履台（上層段ボール、中層段ボール、下層段ボール）にかかったとしても、上層段ボールや中層段ボール、下層段ボールによってその体重を十分に支えることができ、それら段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れることはなく、草履台としての形態を維持することができ、草履としての機能を確実に保持することができる。草履は、上下方向へ層状に重なり合う上層段ボールと中層段ボールと下層段ボールとから形成された草履台が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。草履は、上層段ボールと中層段ボールと下層段ボールとを上下方向へ層状に重ね、所定の固着手段によってそれら段ボールを固着し、所定の固定手段によって鼻緒の後端部を中層段ボールに固定し、所定の固定手段によって前坪の下端部を中層段ボールに固定することから作られているから、その作成に手間がかからず廉価に作ることができる。

[0021] 上層段ボールが1枚の上層両面段ボールであり、中層段ボールが上下方向へ重なり合う3枚の第1～第3中層両面段ボールであり、下層段ボールが1枚の下層両面段ボールであり、上層両面段ボールのライナーの下面と第1中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第1中層両面段ボールのライナーの下面と第2中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されているとともに、第2中層両面段ボールのライナーの下面と第3中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第3中層両面段ボールのライナーの下面と下層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されている草履は、草履台が上下方向へ層状に重なり合う上層両面段ボールと第1～第3中層両面段ボールと下層両面段ボールとから形成されているから、着用者の全体重が草履台（上層両面段ボール、第1～第3中層両面段ボール、下

層両面段ボール）にかかったとしても、上層両面段ボールや第1～第3中層両面段ボール、下層両面段ボールによってその体重を十分に支えることができ、それら両面段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れることはなく、草履台としての形態を維持することができ、草履としての機能を確実に保持することができる。草履は、上下方向へ層状に重なり合う上層両面段ボールと第1～第3中層両面段ボールと下層両面段ボールとから形成された草履台が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。草履は、上層両面段ボールと第1～第3中層両面段ボールと下層両面段ボールとを上下方向へ層状に重ね、所定の固着手段によって上層両面段ボールのライナーの下面と第1中層両面段ボールのライナーの上面とを固着し、所定の固着手段によって第1中層両面段ボールのライナーの下面と第2中層両面段ボールのライナーの上面とを固着するとともに、所定の固着手段によって第2中層両面段ボールのライナーの下面と第3中層両面段ボールのライナーの上面とを固着し、所定の固着手段によって第3中層両面段ボールのライナーの下面と下層両面段ボールのライナーの上面とを固着することから作られているから、その作成に手間がかからず廉価に作ることができる。

[0022] 上層両面段ボールの目方向と第1中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で上層両面段ボールと第1中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第1中層両面段ボールの目方向と第2中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1中層両面段ボールと第2中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っているとともに、第2中層両面段ボールの目方向と第3中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第2中層両面段ボールと第3中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第3中層両面段ボールの目方向と下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第3中層両面段ボールと下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っている草履は、上層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第1中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差し、第1中層両面段ボールのコル

ゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第2中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差し、第2中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第3中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差するとともに、第3中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と下層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差した状態で、それら両面段ボールが上下方向へ重なり合っているから、それら両面段ボールの中芯の延出方向（目方向）が並行する場合と比較し、上下方向の圧縮力に対するそれら両面段ボールの抵抗力が増加し、着用者の全体重が草履台（上層両面段ボール、第1～第3中層両面段ボール、下層両面段ボール）にかかったとしても、上層両面段ボールや第1～第3中層両面段ボール、下層両面段ボールによってその体重を十分に支えることができ、それら両面段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れることはなく、草履台としての形態を維持することができ、草履としての機能を確実に保持することができる。草履は、中芯の延出方向（目方向）が交差した状態で上下方向へ層状に重なり合う上層両面段ボールと第1～第3中層両面段ボールと下層両面段ボールとから形成された草履台が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。

[0023] 上層両面段ボールの面積と下層両面段ボールの面積とが中層両面段ボールの面積よりも小さく、中層両面段ボールの周縁部が上層両面段ボールおよび下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している草履は、中層両面段ボールの周縁部が上層両面段ボールおよび下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出することで、草履の周縁に丸みを持たせることができ、草履としての見端を向上させることができる。草履は、着用者の足裏が上層両面段ボールのライナーの周縁からはみ出したとしても、中層両面段ボールの周縁部に延びるライナーに足裏が接地するから、草履の周縁からの着用者の足裏のはみ出しを防ぐことができる。

[0024] 第1中層両面段ボールの面積と第3中層両面段ボールの面積とが第2中層

両面段ボールの面積よりも小さく、第2中層両面段ボールの周縁部が第1中層両面段ボールおよび第3中層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している草履は、中層両面段ボールの周縁部が上層両面段ボールおよび下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出するとともに、第2中層両面段ボールの周縁部が第1中層両面段ボールおよび第3中層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出することで、草履の周縁に一層丸みを持たせることができ、草履としての見端を一層向上させることができる。

[0025] 防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が上層両面段ボールのライナーの上面と下層両面段ボールのライナーの下面とのうちの少なくとも上層両面段ボールのライナーの上面に施されている草履は、たとえば、上層両面段ボールや下層両面段ボールに防水加工を施すことで、上層両面段ボールや下層両面段ボールから草履台への水分や湿気の滲入を防ぐことができ、水分や湿気が草履台へ滲入することによる草履台の強度や耐久性の低下を防ぐことができる。また、上層両面段ボールや下層両面段ボールに防滑加工を施すことで、上層両面段ボールや下層両面段ボールに滑り止め機能を持たせることができるから、草履を着用した着用者の足裏の草履台における滑りを防ぐことができ、草履の接地面に対する滑りを防ぐことができる。

[0026] 上層段ボールが上下方向へ重なり合う2枚の第1および第2上層両面段ボールであり、中層段ボールが上下方向へ重なり合う2枚の第1および第2中層両面段ボールであり、下層段ボールが上下方向へ重なり合う2枚の第1および第2下層両面段ボールであり、第1上層両面段ボールのライナーの下面と第2上層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第2上層両面段ボールのライナーの下面と第1中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第1中層両面段ボールのライナーの下面と第2中層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されているとともに、第2中層両面段ボールのライナーの下面と第1下層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着され、第1下層両面段ボールのライナーの下面と第2下層両面段ボールのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着される。

ルのライナーの上面とが所定の固着手段によって固着されている草履は、草履台が上下方向へ層状に重なり合う第1および第2上層両面段ボールと第1および第2中層両面段ボールと第1および第2下層両面段ボールとから形成されているから、着用者の全体重が草履台（第1および第2上層両面段ボール、第1および第2中層両面段ボール、第1および第2下層両面段ボール）にかかったとしても、第1および第2上層両面段ボールや第1および第2中層両面段ボール、第1および第2下層両面段ボールによってその体重を十分に支えることができ、それら両面段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れることはなく、草履台としての形態を維持することができ、草履としての機能を確実に保持することができる。草履は、上下方向へ層状に重なり合う第1および第2上層両面段ボールと第1および第2中層両面段ボールと第1および第2下層両面段ボールとから形成された草履台が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。草履は、第1および第2上層両面段ボールと第1および第2中層両面段ボールと第1および第2下層両面段ボールとを上下方向へ層状に重ね、所定の固着手段によって第1上層両面段ボールのライナーの下面と第2上層両面段ボールのライナーの上面とを固着し、所定の固着手段によって第2上層両面段ボールのライナーの下面と第1中層両面段ボールのライナーの上面とを固着し、所定の固着手段によって第1中層両面段ボールのライナーの下面と第2中層両面段ボールのライナーの上面とを固着するとともに、所定の固着手段によって第2中層両面段ボールのライナーの下面と第1下層両面段ボールのライナーの上面とを固着し、所定の固着手段によって第1下層両面段ボールのライナーの下面と第2下層両面段ボールのライナーの上面とを固着することから作られているから、その作成に手間がかからず廉価に作ることができる。

[0027] 第1上層両面段ボールの目方向と第2上層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1上層両面段ボールと第2上層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第2上層両面段ボールの目方向と第1中層両面段ボールの目方向

とが交差した状態で第2上層両面段ボールと第1中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第1中層両面段ボールの目方向と第2中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1中層両面段ボールと第2中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っているとともに、第2中層両面段ボールの目方向と第1下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第2中層両面段ボールと第1下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、第1下層両面段ボールの目方向と第2下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で第1下層両面段ボールと第2下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っている草履は、第1上層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第2上層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差し、第2上層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第1中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差し、第1中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第2中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差するとともに、第2中層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第1下層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差し、第1下層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）と第2下層両面段ボールのコルゲート構造の中芯の延出方向（目方向）とが交差した状態で、それら両面段ボールが上下方向へ重なり合っているから、それら両面段ボールの中芯の延出方向（目方向）が並行する場合と比較し、上下方向の圧縮力に対するそれら両面段ボールの抵抗力が増加し、着用者の全体重が草履台（第1および第2上層両面段ボール、第1および第2中層両面段ボール、第1および第2下層両面段ボール）にかかったとしても、第1および第2上層両面段ボールや第1および第2中層両面段ボール、第1および第2下層両面段ボールによってその体重を十分に支えることができ、それら両面段ボールのコルゲート構造の中芯が潰れることはなく、草履台としての形態を維持することができ、草履としての機能を確実に保持することができる。草履は、中芯の延出方向（目方向）が交差した状態で上

下方向へ層状に重なり合う第1および第2上層両面段ボールと第1および第2中層両面段ボールと第1および第2下層両面段ボールとから形成された草履台が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。

[0028] 第1および第2上層両面段ボールの面積と第1および第2下層両面段ボールの面積とが第1および第2中層両面段ボールの面積よりも小さく、第1および第2中層両面段ボールの周縁部が第1および第2上層両面段ボールおよび第1および第2下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している草履は、第1および第2中層両面段ボールの周縁部が第1および第2上層両面段ボールおよび第1および第2下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出することで、草履の周縁に丸みを持たせることができ、草履としての見端を向上させることができる。草履は、着用者の足裏が第1および第2上層両面段ボールのライナーの周縁からはみ出したとしても、第1および第2中層両面段ボールの周縁部に延びるライナーに足裏が接地するから、草履の周縁からの着用者の足裏のはみ出しを防ぐことができる。

[0029] 第1上層両面段ボールの面積が第2上層両面段ボールの面積よりも小さく、第2下層両面段ボールの面積が第1下層両面段ボールの面積よりも小さく、第2上層両面段ボールの周縁部が第1上層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出し、第1下層両面段ボールの周縁部が第2下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している草履は、第1および第2中層両面段ボールの周縁部が第1および第2上層両面段ボールおよび第1および第2下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出し、第2上層両面段ボールの周縁部が第1上層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出するとともに、第1下層両面段ボールの周縁部が第2下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出することで、草履の周縁に一層丸みを持たせることができ、草履としての見端を一層向上させることができる。

[0030] 防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が第1上層両面段ボールのライナーの上面と第2下層両面段ボールのライナーの下面とのうちの少なく

とも第1上層両面段ボールのライナーの上面に施されている草履は、たとえば、第1上層両面段ボールや第2下層両面段ボールに防水加工を施すことで、第1上層両面段ボールや第2下層両面段ボールから草履台への水分や湿気の滲入を防ぐことができ、水分や湿気が草履台へ滲入することによる草履台の強度や耐久性の低下を防ぐことができる。また、第1上層両面段ボールや第2下層両面段ボールに防滑加工を施すことで、第1上層両面段ボールや第2下層両面段ボールに滑り止め機能を持たせることができるから、草履を着用した着用者の足裏の草履台における滑りを防ぐことができ、草履の接地面に対する滑りを防ぐことができる。

図面の簡単な説明

[0031] [図1]一例として示す草履の斜視図。

[図2]図1の草履の上面図。

[図3]図1の草履の底面図。

[図4]図1の草履の側面図。

[図5]図2のA－A線矢視断面図。

[図6]図2のB－B線矢視断面図。

[図7]鼻緒の後端部の固定状態を示す拡大図。

[図8]他の一例として示す草履の斜視図。

[図9]図8の草履の上面図。

[図10]図8の草履の底面図。

[図11]図8の草履の側面図。

[図12]図9のC－C線矢視断面図。

[図13]図9のD－D線矢視断面図。

[図14]鼻緒の後端部の固定状態を示す拡大図。

発明を実施するための形態

[0032] 一例として示す草履10Aの斜視図である図1等の添付の図面を参照し、本発明に係る草履の詳細を説明すると、以下のとおりである。なお、図2は、図1の草履10Aの上面図であり、図3は、図1の草履10Aの底面図で

ある。図4は、図1の草履10Aの側面図であり、図5は、図2のA-A線矢視断面図である。図6は、図2のB-B線矢視断面図であり、図7は、鼻緒12の後端部25の固定状態を示す拡大図である。図1では、上下方向を矢印Xで示し、径方向を矢印Yで示す。なお、右足用の草履10Aのみを図示しているが、実際には、右足用の草履10Aと左足用の草履とが存在する。左足用の草履の構成は右足用のそれと同一である。

[0033] 草履10Aは、草履台11と鼻緒12と前坪13とを備えている。草履台11は、上下方向へ層状に重なり合った複数枚の段ボールから作られている。それら段ボールは、草履台11の天14に位置する（最上層に位置する）上層段ボール15と、草履台11の巻16に位置する（中間層に位置する）中層段ボール17と、草履台11の底18に位置する（最下層に位置する）下層段ボール19とから形成されている。草履10A（草履10Bを含む）の草履台11に使用する段ボールの材質（紙、合成樹脂）に特に制限はなく、既存の材質の段ボールを使用することができるほか、今後開発される材質の段ボールを使用することができる。

[0034] 上層段ボール15は、1枚の上層両面段ボール15aであり、前後部が略円形および中間部が略矩形の草履形（草鞋形）に成形されている。上層両面段ボール15aは、矩形の両面段ボール原反から型抜きによって作ることができる。上層両面段ボール15aは、表ライナー20aおよび裏ライナー21aと、それらライナー20a、21aに間に位置するコルゲート構造の中芯22aとから作られている。なお、上層両面段ボール15aの平面形状は図示のそれに限定されず、上層両面段ボール15aの平面形状を下駄形や雪駄形、ビーチサンダル形等の任意の形状に成形することができる。

[0035] 上層両面段ボール15aの前部の中央には、前坪13の下端部23を挿入する挿入孔24が穿孔されている。上層両面段ボール15aの後部の両側には、鼻緒12の後端部25を挿入する挿入孔26が穿孔されている。上層両面段ボール15aの表ライナー20aの上面27aには、図示はしていないが、防水加工と防滑加工とが施されている。防水加工には、防水コーティン

グ剤や防水フィルム等を利用する。防水加工では、防水コーティング剤が上層両面段ボール15aの表ライナー20aの上面27a全域に塗布され、または、防水フィルムが上層両面段ボール15aの表ライナー20aの上面27a全域に貼着される。

[0036] 防滑加工には、滑り止めコーティング剤や滑り止めゴム等を使用する。防滑加工では、滑り止めコーティング剤が防水コーティング剤または防水フィルムの上に塗布され、または、滑り止めゴムが防水コーティング剤または防水フィルムの上に貼着される。なお、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が上層両面段ボール15aの表ライナー20aの上面27aに施されていればよい。また、防水加工や防滑加工が上層両面段ボール15aの表ライナー20aの上面27aに施されていなくてもよい。

[0037] 中層段ボール17は、上下方向へ重なり合う3枚の第1中層両面段ボール17aと第2中層両面段ボール17bと第3中層両面段ボール17cとから形成されている。第1～第3中層両面段ボール17a～17cは、同形同大であり、前後部が略円形および中間部が略矩形の草履形（草鞋形）に成形されている。第1～第3中層両面段ボール17a～17cは、矩形の両面段ボール原反から型抜きによって作ることができる。

[0038] 第1および第2中層両面段ボール17a, 17bの前部の中央には、前坪13の下端部23を挿入する挿入孔24が穿孔されている。第1および第2中層両面段ボール17a, 17bの後部の両側には、鼻緒12の後端部25を挿入する挿入孔26が穿孔されている。なお、第1～第3中層両面段ボール17a～17cの平面形状は図示のそれに限定されず、第1～第3中層両面段ボール17a～17cの平面形状を下駄形や雪駄形、ビーチサンダル形等の任意の形状に成形することができる。

[0039] 第1中層両面段ボール17aは、表ライナー28aおよび裏ライナー29aと、それらライナー28a, 29aに間に位置するコルゲート構造の中芯30aとから作られている。第1中層両面段ボール17aは、上層両面段ボール15aの直下に配置され、上層両面段ボール15aの周縁31（外周縁

）が第1中層両面段ボール17aの周縁32（外周縁）の径方向内方（内側）に位置した状態で、表ライナー28aの上面33aが上層両面段ボール15aの裏ライナー21aの下面34aに重なっている。

[0040] 第1中層両面段ボール17aは、その目方向（中芯30aの延出方向）が上層両面段ボール15aの目方向（中芯22aの延出方向）と交差した状態で上層両面段ボール15aの直下に位置している。第1中層両面段ボール17aは、その表ライナー28aの上面33aが接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって上層両面段ボール15aの裏ライナー21aの下面34aに分離不能に固着されている。接着剤は、上層両面段ボール15aの裏ライナー21aの下面34aと第1中層両面段ボール17aの表ライナー28aの上面33aとのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。接着剤としては、澱粉系接着剤やホットメルト接着が使用される（以下の接着剤も同様）。

[0041] 第2中層両面段ボール17bは、表ライナー28bおよび裏ライナー29bと、それらライナー28b、29bに間に位置するコルゲート構造の中芯30bとから作られている。第2中層両面段ボール17bは、第1中層両面段ボール17aの直下に配置され、第2中層両面段ボール17bの周縁32（外周縁）と第1中層両面段ボール17aの周縁32（外周縁）とが一致した状態で、表ライナー28bの上面33bが第1中層両面段ボール17aの裏ライナー29aの下面35aに重なっている。

[0042] 第2中層両面段ボール17bは、その目方向（中芯30bの延出方向）が第1中層両面段ボール17aの目方向（中芯30aの延出方向）と交差した状態で第1中層両面段ボール17aの直下に位置している。なお、上層両面段ボール15aの目方向（中芯22aの延出方向）と第2中層両面段ボール17bの目方向（中芯30bの延出方向）とが略並行している。第2中層両面段ボール17bは、その表ライナー28bの上面33bが接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第1中層両面段ボール17aの裏ライナー29aの下面35aに分離不能に固着されている。接着剤は、第1中層両面段

ボール 17 a の裏ライナー 29 a の下面 35 a と第 2 中層両面段ボール 17 b の表ライナー 28 b の上面 33 b とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0043] 第 3 中層両面段ボール 17 c は、表ライナー 28 c および裏ライナー 29 c と、それらライナー 28 c, 29 c に間に位置するコルゲート構造の中芯 30 c とから作られている。第 3 中層両面段ボール 17 c は、第 2 中層両面段ボール 17 b の直下に配置され、第 3 中層両面段ボール 17 c の周縁 32 (外周縁) と第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b の周縁 32 (外周縁) とが一致した状態で、表ライナー 28 c の上面 33 c が第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b に重なっている。

[0044] 第 3 中層両面段ボール 17 c は、その目方向 (中芯 30 c の延出方向) が第 2 中層両面段ボール 17 b の目方向 (中芯 30 b の延出方向) と交差した状態で第 2 中層両面段ボール 17 b の直下に位置している。なお、第 1 中層両面段ボール 17 a の目方向 (中芯 30 a の延出方向) と第 3 中層両面段ボール 17 c の目方向 (中芯 30 c の延出方向) とが略並行している。第 3 中層両面段ボール 17 c は、その表ライナー 28 c の上面 33 c が接着剤 (所定の固着手段) (図示せず) によって第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b に分離不能に固着されている。接着剤は、第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b と第 3 中層両面段ボール 17 c の表ライナー 28 c の上面 33 c とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0045] 下層段ボール 19 は、1 枚の下層両面段ボール 19 a であり、前後部が略円形および中間部が略矩形の草履形 (草鞋形) に成形されている。下層両面段ボール 19 a は、矩形の両面段ボール原反から型抜きによって作ることができる。下層両面段ボール 19 a は、表ライナー 36 a および裏ライナー 37 a と、それらライナー 36 a, 37 a に間に位置するコルゲート構造の中芯 38 a とから作られている。なお、下層両面段ボール 19 a の平面形状は図示のそれに限定されず、下層両面段ボール 19 a の平面形状を下駄形や雪

駄形、ビーチサンダル形等の任意の形状に成形することができる。

[0046] 下層両面段ボール 19 a は、第 3 中層両面段ボール 17 c の直下に配置され、下層両面段ボール 19 a の周縁 39（外周縁）が第 3 中層両面段ボール 17 c の周縁 32（外周縁）の径方向内方（内側）に位置した状態で、表ライナー 36 a の上面 40 a が第 3 中層両面段ボール 17 c の裏ライナー 29 c の下面 35 c に重なっている。下層両面段ボール 19 a は、その目方向（中芯 38 a の延出方向）が第 3 中層両面段ボール 17 c の目方向（中芯 30 c の延出方向）と交差した状態で第 3 中層両面段ボール 17 c の直下に位置している。なお、第 2 中層両面段ボール 17 b の目方向（中芯 30 b の延出方向）と下層両面段ボール 19 a の目方向（中芯 38 a の延出方向）とが略並行している。下層両面段ボール 19 a は、その表ライナー 36 a の上面 40 a が接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第 3 中層両面段ボール 17 c の裏ライナー 29 c の下面 35 c に分離不能に固着されている。接着剤は、第 3 中層両面段ボール 17 c の裏ライナー 29 c の下面 35 c と下層両面段ボール 19 a の表ライナー 36 a の上面 40 a とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0047] 下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 36 a の下面 41 a には、図示はしていないが、防水加工（防水コーティング剤や防水フィルム等）と防滑加工（滑り止めコーティング剤や滑り止めゴム等）とが施されている。防水加工では、防水コーティング剤が下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 36 a の下面 41 a 全域に塗布され、または、防水フィルムが下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 36 a の下面 41 a 全域に貼着される。防滑加工では、滑り止めコーティング剤が防水コーティング剤または防水フィルムの下に塗布され、または、滑り止めゴムが防水コーティング剤または防水フィルムの下に貼着される。なお、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 36 a の下面 41 a に施されていればよい。また、防水加工や防滑加工が下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 36 a の

下面 4 1 a に施されていなくてもよい。

[0048] 草履 1 0 A では、上層両面段ボール 1 5 a と第 1 ～第 3 中層両面段ボール 1 7 a ～1 7 c と下層両面段ボール 1 9 a とが同形であるが、上層両面段ボール 1 5 a の面積と下層両面段ボール 1 9 a の面積とが第 1 ～第 3 中層両面段ボール 1 7 a ～1 7 c の面積よりも小さい。草履 1 0 A では、第 1 ～第 3 中層両面段ボール 1 7 a ～1 7 c の周縁部 4 2 が上層両面段ボール 1 5 a および下層両面段ボール 1 9 a の周縁 3 1, 3 9 から径方向外方へ延出している。なお、草履 1 0 A では、第 1 ～第 3 中層両面段ボール 1 7 a ～1 7 c が同形同大であるが、第 1 中層両面段ボール 1 7 a の面積と第 3 中層両面段ボール 1 7 c の面積とが第 2 中層両面段ボール 1 7 b の面積よりも小さくてもよい。この場合、第 2 中層両面段ボール 1 7 b の周縁部 4 2 が第 1 中層両面段ボール 1 7 a および第 3 中層両面段ボール 1 7 c の周縁から径方向外方へ延出する。

[0049] 鼻緒 1 2 は、化学繊維や天然繊維を撚って作られた縄材である。鼻緒 1 2 は、一对のそれらが草履台 1 1 の前部から後部に向かって延びている。それら鼻緒 1 2 は、その後端部 2 5 が草履台 1 1 の上層両面段ボール 1 5 a および第 1 および第 2 中層両面段ボール 1 7 a, 1 7 b の後部の両側に穿孔された挿入孔 2 6 に挿入されている。それら鼻緒 1 2 の後端部 2 5 は、図 7 に示すように、挿入孔 2 6 に充填されたホットメルト接着剤（所定の固定手段）によって第 1 ～第 3 中層両面段ボール 1 7 a ～1 7 c に分離不能に固定されている。なお、鼻緒には、縄材の他に、織物や編み物を使用することができる。

[0050] 前坪 1 3 は、鼻緒 1 2 と同様の縄材である。前坪 1 3 は、草履台 1 1 の前部に位置して上下方向へ延びている。前坪 1 3 は、その下端部 2 3 が草履台 1 1 の上層両面段ボール 1 5 a および第 1 および第 2 中層両面段ボール 1 7 a, 1 7 b の前部の中央に穿孔された挿入孔 2 4 に挿入されている。前坪 1 3 の下端部 2 3 は、図 5 に示すように、挿入孔 2 4 に充填されたホットメルト接着剤（所定の固定手段）によって第 1 ～第 3 中層両面段ボール 1 7 a ～

17cに分離不能に固定されている。なお、前坪13には、縄材の他に、織物や編み物を使用することができる。

[0051] 草履10Aは、矩形の段ボール原反を型抜きして複数枚の上層両面段ボール15a、複数枚の第1～第3中層両面段ボール17a～17c、複数枚の下層両面段ボール19aを作成し、上層両面段ボール15aの下に第1中層両面段ボール17aを重ね、第1中層両面段ボール17aの下に第2中層両面段ボール17bを重ねるとともに、第2中層両面段ボール17bの下に第3中層両面段ボール17cを重ね、第3中層両面段ボール17cの下に下層両面段ボール19aを重ね、それら両面段ボール15a、17a～17c、19aを接着剤によって固着し、それら鼻緒12の後端部25を挿入孔26に挿入しつつホットメルト接着剤によって第1～第3中層両面段ボール17a～17cに固定するとともに、前坪13の下端部23を挿入孔24に挿入しつつホットメルト接着剤によって第1～第3中層両面段ボール17a～17cに固定することから作ることができる。

[0052] 草履10Aは、草履台11が上下方向へ層状に重なり合う上層両面段ボール15aと第1～第3中層両面段ボール17a～17cと下層両面段ボール19aとから形成され、上層両面段ボール15aのコルゲート構造の中芯22aの延出方向（目方向）と第1中層両面段ボール17aのコルゲート構造の中芯30aの延出方向（目方向）とが交差し、第1中層両面段ボール17aのコルゲート構造の中芯30aの延出方向（目方向）と第2中層両面段ボール17bのコルゲート構造の中芯30bの延出方向（目方向）とが交差し、第2中層両面段ボール17bのコルゲート構造の中芯30bの延出方向（目方向）と第3中層両面段ボール17cのコルゲート構造の中芯30cの延出方向（目方向）とが交差するとともに、第3中層両面段ボール17cのコルゲート構造の中芯30cの延出方向（目方向）と下層両面段ボール19aのコルゲート構造の中芯38aの延出方向（目方向）とが交差した状態で、それら両面段ボール15a、17a～17c、19aが上下方向へ重なり合っているから、それら両面段ボール15a、17a～17c、19aの中芯

30a～30cの延出方向（目方向）が並行する場合と比較し、上下方向の圧縮力に対するそれら両面段ボール15a, 17a～17c, 19aの抵抗が増加し、着用者の全体重が草履台（上層両面段ボール15a、第1～第3中層両面段ボール17a～17c、下層両面段ボール19a）にかかったとしても、上層両面段ボール15aや第1～第3中層両面段ボール17a～17c、下層両面段ボール19aによってその体重を十分に支えることができ、それら両面段ボール15a, 17a～17c, 19aのコルゲート構造の中芯30a～30cが潰れることはなく、草履台11としての形態を維持することができ、草履10Aとしての機能を確実に保持することができる。

[0053] 草履10Aは、中芯30a～30cの延出方向（目方向）が交差した状態で上下方向へ層状に重なり合う上層両面段ボール15aと第1～第3中層両面段ボール17a～17cと下層両面段ボール19aとから形成された草履台11が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。

[0054] 草履10Aは、上層両面段ボール15aと第1～第3中層両面段ボール17a～17cと下層両面段ボール19aとを上下方向へ層状に重ね、所定の固着手段によって上層両面段ボール15aの裏ライナー21aの下面34aと第1中層両面段ボール17aの表ライナー28aの上面33aとを固着し、所定の固着手段によって第1中層両面段ボール17aの裏ライナー29aの下面35aと第2中層両面段ボール17bの表ライナー28bの上面33bとを固着するとともに、所定の固着手段によって第2中層両面段ボール17bの裏ライナー29bの下面35bと第3中層両面段ボール17cの表ライナー28cの上面33cとを固着し、所定の固着手段によって第3中層両面段ボール17cの裏ライナー29cの下面35cと下層両面段ボール19aの表ライナー36aの上面40aとを固着することから作られているから、その作成に手間がかからず廉価に作ることができる。

[0055] 草履10Aは、上層両面段ボール15aの面積と下層両面段ボール19aの面積とが第1～第3中層両面段ボール17a～17cの面積よりも小さく

、第１～第３中層両面段ボール１７ａ～１７ｃの周縁部４２が上層両面段ボール１５ａおよび下層両面段ボール１９ａの周縁３１，３９から径方向外方へ延出しているから、草履１０Ａの周縁（外周縁部）に丸みを持たせることができ、草履１０Ａとしての見端を向上させることができる。草履１０Ａは、着用者の足裏が上層両面段ボール１５ａの表ライナー２０ａの周縁３１からはみ出したとしても、第１～第３中層両面段ボール１７ａ～１７ｃの周縁部４２に延びる表ライナー２８ａに足裏が接地するから、草履１０Ａの周縁からの着用者の足裏のはみ出しを防ぐことができる。

[0056] 草履１０Ａは、上層両面段ボール１５ａや下層両面段ボール１９ａに防水加工を施すことで、上層両面段ボール１５ａや下層両面段ボール１９ａから草履台１１への水分や湿気の滲入を防ぐことができ、水分や湿気が草履台１１へ滲入することによる草履台１１の強度や耐久性の低下を防ぐことができる。また、上層両面段ボール１５ａや下層両面段ボール１９ａに防滑加工を施すことで、上層両面段ボール１５ａや下層両面段ボール１９ａに滑り止め機能を持たせることができるから、草履１０Ａを着用した着用者の足裏の草履台１１における滑りを防ぐことができ、草履１０Ａの接地面に対する滑りを防ぐことができる。

[0057] 図８は、他の一例として示す草履１０Ｂの斜視図であり、図９は、図８の草履１０Ｂの上面図である。図１０は、図８の草履１０Ｂの底面図であり、図１１は、図８の草履１０Ｂの側面図である。図１２は、図９のＣ－Ｃ線矢視断面図であり、図１３は、図９のＤ－Ｄ線矢視断面図である。図１４は、鼻緒１２の後端部２５の固定状態を示す拡大図である。図８では、上下方向を矢印Ｘで示し、径方向を矢印Ｙで示す。なお、右足用の草履１０Ｂのみを図示しているが、実際には、右足用の草履１０Ｂと左足用の草履とが存在する。左足用の草履の構成は右足用のそれと同一である。

[0058] 草履１０Ｂは、草履台１１と鼻緒１２と前坪１３とを備えている。草履台１１は、上下方向へ層状に重なり合った複数枚の段ボールから作られている。それら段ボールは、草履台１１の天１４に位置する（最上層に位置する）

上層段ボール 15 と、草履台 11 の巻 16 に位置する（中間層に位置する）
中層段ボール 17 と、草履台 11 の底 18 に位置する（最下層に位置する）
下層段ボール 19 とから形成されている。

[0059] 上層段ボール 15 は、上下方向へ重なり合う 2 枚の第 1 上層両面段ボール 15 a と第 2 上層両面段ボール 15 b とから形成されている。第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b は、同形であり、前後部が略円形および中間部が略矩形の草履形（草鞋形）に成形されている。第 1 上層両面段ボール 15 a や第 2 上層両面段ボール 15 b は、矩形の両面段ボール原反から型抜きによって作ることができる。第 1 上層両面段ボール 15 a は、表ライナー 20 a および裏ライナー 21 a と、それらライナー 20 a, 21 a に間に位置するコルゲート構造の中芯 22 a とから作られ、第 2 上層両面段ボール 15 b は、表ライナー 20 b および裏ライナー 21 b と、それらライナー 20 b, 21 b に間に位置するコルゲート構造の中芯 22 b とから作られている。なお、それら上層両面段ボール 15 a, 15 b の平面形状は図示のそれらに限定されず、それら上層両面段ボール 15 a, 15 b の平面形状を下駄形や雪駄形、ビーチサンダル形等の任意の形状に成形することができる。

[0060] 第 1 上層両面段ボール 15 a および第 2 上層両面段ボール 15 b の前部の中央には、前坪 13 の下端部 23 を挿入する挿入孔 24 が穿孔されている。第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b の後部の両側には、鼻緒 12 の後端部 25 を挿入する挿入孔 26 が穿孔されている。第 1 上層両面段ボール 15 a の表ライナー 20 a の上面 27 a には、図示はしていないが、防水加工と防滑加工とが施されている。防水加工や防滑加工は、草履 10 A のそれと同一である。なお、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が第 1 上層両面段ボール 15 a の表ライナー 20 a の上面 27 a に施されていればよい。また、防水加工や防滑加工が第 1 上層両面段ボール 15 a の表ライナー 20 a の上面 27 a に施されていなくてもよい。

[0061] 第 2 上層両面段ボール 15 b は、第 1 上層両面段ボール 15 a の直下に配置され、第 1 上層両面段ボール 15 a の周縁 31 a（外周縁）が第 2 上層両

面段ボール 15 b の周縁 31 b（外周縁）の径方向内方（内側）に位置した状態で、表ライナー 20 b の上面 27 b が第 1 上層両面段ボール 15 a の裏ライナー 21 a の下面 34 a に重なっている。第 2 上層両面段ボール 15 b は、その目方向（中芯 22 b の延出方向）が第 1 上層両面段ボール 15 a の目方向（中芯 22 a の延出方向）と交差した状態で第 1 上層両面段ボール 15 a の直下に位置している。

[0062] 第 2 上層両面段ボール 15 b は、その表ライナー 20 b の上面 27 b が接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第 1 上層両面段ボール 15 a の裏ライナー 21 a の下面 34 a に分離不能に固着されている。接着剤は、第 1 上層両面段ボール 15 a の裏ライナー 21 a の下面 34 a と第 2 上層両面段ボール 15 b の表ライナー 20 b の上面 27 b とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0063] 中層段ボール 17 は、上下方向へ重なり合う 2 枚の第 1 中層両面段ボール 17 a と第 2 中層両面段ボール 17 b とから形成されている。第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b は、同形同大であり、前後部が略円形および中間部が略矩形の草履形（草鞋形）に成形されている。第 1 中層両面段ボール 17 a や第 2 中層両面段ボール 17 b は、矩形の両面段ボール原反から型抜きによって作ることができる。第 1 中層両面段ボール 17 a の前部の中央には、前坪 13 の下端部 23 を挿入する挿入孔 24 が穿孔されている。第 1 中層両面段ボール 17 a の後部の両側には、鼻緒 12 の後端部 25 を挿入する挿入孔 26 が穿孔されている。なお、第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b の平面形状は図示のそれに限定されず、第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b の平面形状を下駄形や雪駄形、ビーチサンダル形等の任意の形状に成形することができる。

[0064] 第 1 中層両面段ボール 17 a は、表ライナー 28 a および裏ライナー 29 a と、それらライナー 28 a, 29 a に間に位置するコルゲート構造の中芯 30 a とから作られ、第 2 中層両面段ボール 17 b は、表ライナー 28 b および裏ライナー 29 b と、それらライナー 28 b, 29 b に間に位置するコ

ルゲート構造の中芯30bとから作られている。第1中層両面段ボール17aは、第2上層両面段ボール15bの直下に配置され、第2上層両面段ボール15bの周縁31b（外周縁）が第1中層両面段ボール17aの周縁32（外周縁）の径方向内方（内側）に位置した状態で、表ライナー28aの上面27aが第2上層両面段ボール15bの裏ライナー21bの下面34bに重なっている。

[0065] 第1中層両面段ボール17aは、その目方向（中芯30aの延出方向）が第2上層両面段ボール15bの目方向（中芯22bの延出方向）と交差した状態で第2上層両面段ボール15bの直下に位置している。なお、第1上層両面段ボール15aの目方向（中芯22aの延出方向）と第1中層両面段ボール17aの目方向（中芯30aの延出方向）とが略並行している。第1中層両面段ボール17aは、その表ライナー28aの上面33aが接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第2上層両面段ボール15bの裏ライナー21bの下面34bに分離不能に固着されている。接着剤は、第2上層両面段ボール15bの裏ライナー21bの下面34bと第1中層両面段ボール17aの表ライナー28aの上面33aとのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0066] 第2中層両面段ボール17bは、第1中層両面段ボール17aの直下に配置され、第2中層両面段ボール17bの周縁32（外周縁）と第1中層両面段ボール17aの周縁32（外周縁）とが一致した状態で、表ライナー28bの上面35bが第1中層両面段ボール17aの裏ライナー29aの下面35aに重なっている。第2中層両面段ボール17bは、その目方向（中芯30bの延出方向）が第1中層両面段ボール17aの目方向（中芯30aの延出方向）と交差した状態で第1中層両面段ボール17aの直下に位置している。なお、第2上層両面段ボール15bの目方向（中芯22bの延出方向）と第2中層両面段ボール17bの目方向（中芯30bの延出方向）とが略並行している。第2中層両面段ボール17bは、その表ライナー28bの上面33bが接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第1中層両面段ボ

ール 17 a の裏ライナー 29 a の下面 35 a に分離不能に固着されている。接着剤は、第 1 中層両面段ボール 17 a の裏ライナー 29 a の下面 35 a と第 2 中層両面段ボール 17 b の表ライナー 28 b の上面 33 b とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0067] 下層段ボール 19 は、上下方向へ重なり合う 2 枚の第 1 下層両面段ボール 19 a と第 2 下層両面段ボール 19 b とから形成されている。第 1 および第 2 下層両面段ボール 19 a, 19 b は、同形であり、前後部が略円形および中間部が略矩形の草履形（草鞋形）に成形されている。第 1 下層両面段ボール 19 a や第 2 下層両面段ボール 19 b は、矩形の両面段ボール原反から型抜きによって作ることができる。第 1 下層両面段ボール 19 a は、表ライナー 36 a および裏ライナー 37 a と、それらライナー 36 a, 37 a に間に位置するコルゲート構造の中芯 38 a とから作られ、第 2 下層両面段ボール 19 b は、表ライナー 36 b および裏ライナー 37 b と、それらライナー 36 b, 37 b に間に位置するコルゲート構造の中芯 38 b とから作られている。なお、それら下層両面段ボール 19 a, 19 b の平面形状は図示のそれらに限定されず、それら下層両面段ボール 19 a, 19 b の平面形状を下駄形や雪駄形、ビーチサンダル形等の任意の形状に成形することができる。

[0068] 第 1 下層両面段ボール 19 a は、第 2 中層両面段ボール 17 b の直下に配置され、第 1 下層両面段ボール 19 a の周縁 39 a（外周縁）が第 2 中層両面段ボール 17 b の周縁 32（外周縁）の径方向内方（内側）に位置した状態で、表ライナー 36 a の上面 40 a が第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b に重なっている。第 1 下層両面段ボール 19 a は、その目方向（中芯 38 a の延出方向）が第 2 中層両面段ボール 17 b の目方向（中芯 30 a の延出方向）と交差した状態で第 2 中層両面段ボール 17 b の直下に位置している。なお、第 1 下層両面段ボール 19 a の目方向（中芯 38 a の延出方向）と第 1 中層両面段ボール 17 a の目方向（中芯 30 a の延出方向）とが略並行している。第 1 下層両面段ボール 19 a は、その表

ライナー 36 a の上面 40 a が接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b に分離不能に固着されている。接着剤は、第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b と第 1 下層両面段ボール 19 a の表ライナー 36 a の上面 40 a とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0069] 第 2 下層両面段ボール 19 b は、第 1 下層両面段ボール 19 a の直下に配置され、第 2 下層両面段ボール 19 b の周縁 39 b（外周縁）が第 1 下層両面段ボール 19 a の周縁 39 a（外周縁）の径方向内方（内側）に位置した状態で、表ライナー 36 b の上面 40 b が第 1 下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 37 a の下面 41 a に重なっている。第 2 下層両面段ボール 19 b は、その目方向（中芯 38 b の延出方向）が第 1 下層両面段ボール 19 a の目方向（中芯 38 a の延出方向）と交差した状態で第 1 下層両面段ボール 19 a の直下に位置している。なお、第 2 下層両面段ボール 19 b の目方向（中芯 38 b の延出方向）と第 2 中層両面段ボール 17 b の目方向（中芯 30 b の延出方向）とが略並行している。第 2 下層両面段ボール 19 b は、その表ライナー 36 b の上面 40 b が接着剤（所定の固着手段）（図示せず）によって第 1 下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 37 a の下面 41 a に分離不能に固着されている。接着剤は、第 1 下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 37 a の下面 41 a と第 2 下層両面段ボール 19 b の表ライナー 36 b の上面 40 b とのうちの少なくとも一方の全域に塗布され、または、少なくとも一方に部分的に塗布されている。

[0070] 第 2 下層両面段ボール 19 b の裏ライナー 37 b の下面 41 b には、図示はしていないが、防水加工と防滑加工とが施されている。防水加工や防滑加工は、草履 10 A のそれと同一である。なお、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が第 2 下層両面段ボール 19 b の裏ライナー 37 b の下面 41 b に施されていればよい。また、防水加工や防滑加工が第 2 下層両面段ボール 19 b の裏ライナー 37 b の下面 41 b に施されていなくてもよい。

[0071] 草履10Bでは、第1および第2上層両面段ボール15a, 15bと第1および第2中層両面段ボール17a, 17bと第1および第2下層両面段ボール19a, 19bとが同形であるが、第1および第2上層両面段ボール15a, 15bの面積と第1および第2下層両面段ボール19a, 19bの面積とが第1および第2中層両面段ボール17a, 17bの面積よりも小さい。したがって、第1および第2中層両面段ボール17a, 17bの周縁部42が第1および第2上層両面段ボール15a, 15bおよび第1および第2下層両面段ボール19a, 19bの周縁31a, 31b, 39a, 39bから径方向外方へ延出している。草履10Bでは、第1上層両面段ボール15aの面積が第2上層両面段ボール15bの面積よりも小さく、第2下層両面段ボール19bの面積が第1下層両面段ボール19aの面積よりも小さい。したがって、第2上層両面段ボール15bの周縁部が第1上層両面段ボール15aの周縁31aから径方向外方へ延出し、第1下層両面段ボール19aの周縁部が第2下層両面段ボール19bの周縁39bから径方向外方へ延出している。

[0072] 鼻緒12は、図1の草履10Aのそれと同一であり、その後端部25が草履台11の第1および第2上層両面段ボール15a, 15bと第1中層両面段ボール17aとの後部の両側に穿孔された挿入孔26に挿入されている。それら鼻緒12の後端部25は、図14に示すように、挿入孔26に充填されたホットメルト接着剤（所定の固定手段）によって第2上層両面段ボール15bと第1および第2中層両面段ボール17a, 17bとに分離不能に固定されている。前坪13は、図1の草履10Aのそれと同一であり、その下端部23が草履台11の第1および第2上層両面段ボール15a, 15bおよび第1中層両面段ボール17aの前部の中央に穿孔された挿入孔24に挿入されている。前坪13の下端部23は、図12に示すように、挿入孔24に充填されたホットメルト接着剤（所定の固定手段）によって第2上層両面段ボール15bと第1および第2中層両面段ボール17a, 17bとに分離不能に固定されている。

[0073] 草履１０Ｂは、矩形の段ボール原反を型抜きして複数枚の第１および第２上層両面段ボール１５ａ、１５ｂ、複数枚の第１および第２中層両面段ボール１７ａ、１７ｂ、複数枚の第１および第２下層両面段ボール１９ａ、１９ｂを作成し、第１上層両面段ボール１５ａの下に第２上層両面段ボール１５ｂを重ね、第２上層両面段ボール１５ｂの下に第１中層両面段ボール１７ａを重ね、第１中層両面段ボール１７ａの下に第２中層両面段ボール１７ｂを重ねるとともに、第２中層両面段ボール１７ｂの下に第１下層両面段ボール１９ａを重ね、第１下層両面段ボール１９ａの下に第２下層両面段ボール１９ｂを重ね、それら両面段ボール１５ａ、１５ｂ、１７ａ、１７ｂ、１９ａ、１９ｂを接着剤によって固着し、それら鼻緒１２の後端部２５を挿入孔２６に挿入しつつホットメルト接着剤によって第２上層両面段ボール１５ｂと第１および第２中層両面段ボール１７ａ、１７ｂとに固定するとともに、前坪１３の下端部２３を挿入孔２４に挿入しつつホットメルト接着剤によって第２上層両面段ボール１５ｂと第１および第２中層両面段ボール１７ａ、１７ｂとに固定することから作ることができる。

[0074] 草履１０Ｂは、草履台１１が上下方向へ層状に重なり合う第１および第２上層両面段ボール１５ａ、１５ｂと第１および第２中層両面段ボール１７ａ、１７ｂと第１および第２下層両面段ボール１９ａ、１９ｂとから形成され、第１上層両面段ボール１５ａのコルゲート構造の中芯２２ａの延出方向（目方向）と第２上層両面段ボール１５ｂのコルゲート構造の中芯２２ｂの延出方向（目方向）とが交差し、第２上層両面段ボール１５ｂのコルゲート構造の中芯２２ｂの延出方向（目方向）と第１中層両面段ボール１７ａのコルゲート構造の中芯３０ａの延出方向（目方向）とが交差し、第１中層両面段ボール１７ａのコルゲート構造の中芯３０ａの延出方向（目方向）と第２中層両面段ボール１７ｂのコルゲート構造の中芯３０ｂの延出方向（目方向）とが交差し、第２中層両面段ボール１７ｂのコルゲート構造の中芯３０ｂの延出方向（目方向）と第１下層両面段ボール１９ａのコルゲート構造の中芯３８ａの延出方向（目方向）とが交差し、第１下層両面段ボール

19 a のコルゲート構造の中芯 38 a の延出方向（目方向）と第 2 下層両面段ボール 19 b のコルゲート構造の中芯 38 b の延出方向（目方向）とが交差した状態で、それら両面段ボール 15 a, 15 b, 17 a, 17 b, 19 a, 19 b が上下方向へ重なり合っているから、それら両面段ボール 15 a, 15 b, 17 a, 17 b, 19 a, 19 b の中芯 22 a, 22 b, 30 a, 30 b, 38 a, 38 b の延出方向（目方向）が並行する場合と比較し、上下方向の圧縮力に対するそれら両面段ボール 15 a, 15 b, 17 a, 17 b, 19 a, 19 b の抵抗力が増加し、着用者の全体重が草履台（第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b、第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b、第 1 および第 2 下層両面段ボール 19 a, 19 b）にかかったとしても、第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b や第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b、第 1 および第 2 下層両面段ボール 19 a, 19 b によってその体重を十分に支えることができ、それら両面段ボール 15 a, 15 b, 17 a, 17 b, 19 a, 19 b のコルゲート構造の中芯 22 a, 22 b, 30 a, 30 b, 38 a, 38 b が潰れることはなく、草履台 11 としての形態を維持することができ、草履 10 B としての機能を確実に保持することができる。

[0075] 草履 10 B は、中芯 22 a, 22 b, 30 a, 30 b, 38 a, 38 b の延出方向（目方向）が交差した状態で上下方向へ層状に重なり合う第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b と第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b と第 1 および第 2 下層両面段ボール 19 a, 19 b とから形成された草履台 11 が所定の強度を有するとともに所定の耐久性を有するから、履いたり脱いだりを繰り返すことができ、長期の使用に耐えることができる。

[0076] 草履 10 B は、第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b と第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b と第 1 および第 2 下層両面段ボール 19 a, 19 b とを上下方向へ層状に重ね、所定の固着手段によって第 1 上層両面段ボール 15 a の裏ライナー 21 a の下面 34 a と第 2 上層両面段

ボール 15 b の表ライナー 20 b の上面 27 b とを固着し、所定の固着手段によって第 2 上層両面段ボール 15 b の裏ライナー 21 b の下面 34 b と第 1 中層両面段ボール 17 a の表ライナー 28 a の上面 33 a とを固着し、所定の固着手段によって第 1 中層両面段ボール 17 a の裏ライナー 29 a の下面 35 a と第 2 中層両面段ボール 17 b の表ライナー 28 b の上面 33 b とを固着するとともに、所定の固着手段によって第 2 中層両面段ボール 17 b の裏ライナー 29 b の下面 35 b と第 1 下層両面段ボール 19 a の表ライナー 36 a の上面 40 a とを固着し、所定の固着手段によって第 1 下層両面段ボール 19 a の裏ライナー 37 a の下面 41 a と第 2 下層両面段ボール 19 b の表ライナー 36 b の上面 40 b とを固着することから作られているから、その作成に手間がかからず廉価に作ることができる。

[0077] 草履 10 B は、第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b の面積と第 1 および第 2 下層両面段ボールの面積 19 a, 19 b とが第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b の面積よりも小さく、第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b の周縁部 32 が第 1 および第 2 上層両面段ボール 15 a, 15 b および第 1 および第 2 下層両面段ボール 19 a, 19 b の周縁 31 a, 31 b, 39 a, 39 b から径方向外方へ延出し、第 1 上層両面段ボール 15 a の面積が第 2 上層両面段ボール 15 b の面積よりも小さく、第 2 上層両面段ボール 15 b の周縁部が第 1 上層両面段ボール 15 a の周縁 31 a から径方向外方へ延出しているとともに、第 2 下層両面段ボール 19 b の面積が第 1 下層両面段ボール 19 a の面積よりも小さく、第 1 下層両面段ボール 19 a の周縁部が第 2 下層両面段ボール 19 b の周縁 39 b から径方向外方へ延出しているから、草履 10 B の周縁に丸みを持たせることができ、草履 10 B としての見端を向上させることができる。草履 10 B は、着用者の足裏が第 1 上層両面段ボール 15 a のライナーの周縁からはみ出したとしても、第 2 上層両面段ボール 15 b や第 1 および第 2 中層両面段ボール 17 a, 17 b の周縁部 32 に延びるライナーに足裏が接地するから、草履 10 B の周縁からの着用者の足裏のはみ出しを防ぐことができる。

[0078] 草履 1 0 A は、第 1 上層両面段ボール 1 5 a や第 2 下層両面段ボール 1 9 b に防水加工を施すことで、第 1 上層両面段ボール 1 5 a や第 2 下層両面段ボール 1 9 b から草履台 1 1 への水分や湿気の滲入を防ぐことができ、水分や湿気が草履台 1 1 へ滲入することによる草履台 1 1 の強度や耐久性の低下を防ぐことができる。また、第 1 上層両面段ボール 1 5 a や第 2 下層両面段ボール 1 9 b に防滑加工を施すことで、第 1 上層両面段ボール 1 6 a や第 2 下層両面段ボール 1 9 b に滑り止め機能を持たせることができるから、草履 1 0 B を着用した着用者の足裏の草履台 1 1 における滑りを防ぐことができ、草履 1 0 B の接地面に対する滑りを防ぐことができる。

符号の説明

- [0079] 1 0 A 草履
1 0 B 草履
1 1 草履台
1 2 鼻緒
1 3 前坪
1 4 天
1 5 上層段ボール
1 5 a 上層両面段ボール
1 5 a 第 1 上層両面段ボール
1 5 b 第 2 上層両面段ボール
1 6 巻
1 7 中層段ボール
1 7 a 第 1 中層両面段ボール
1 7 b 第 2 中層両面段ボール
1 7 c 第 3 中層両面段ボール
1 8 底
1 9 下層段ボール
1 9 a 下層両面段ボール

- 19 a 第1下層両面段ボール
- 19 b 第2下層両面段ボール
- 20 a, b 表ライナー
- 21 a, b 裏ライナー
- 22 a, b 中芯
- 23 下端部
- 24 挿入孔
- 25 後端部
- 26 挿入孔
- 27 a, b 上面
- 28 a～c 表ライナー
- 29 a～c 裏ライナー
- 30 a～c 中芯
- 31 a, b 周縁
- 32 周縁部
- 33 a～c 上面
- 34 a, b 下面
- 35 a～c 下面
- 36 a, b 表ライナー
- 37 a, b 裏ライナー
- 38 a, b 中芯
- 39 a, b 周縁
- 40 a, b 上面
- 41 a, b 下面
- 42 周縁部

請求の範囲

- [請求項1] 草履台と鼻緒と前坪とを備えた草履において、
- 前記草履台が、上下方向へ層状に重なり合って所定の固着手段によって固着された複数枚の段ボールから作られ、前記鼻緒と前記前坪とが、所定の固定手段によって前記段ボールに固定されていることを特徴とする草履。
- [請求項2] 前記上下方向へ層状に重なり合う複数枚の段ボールが、前記草履台の天に位置する上層段ボールと、前記草履台の巻に位置して前記所定の固着手段によって前記上層段ボールに固着された中層段ボールと、前記草履台の底に位置して前記所定の固着手段によって前記中層段ボールに固着された下層段ボールとから形成され、前記鼻緒の後端部が、前記上層段ボールを貫通しつつ前記中層段ボールに前記所定の固定手段によって固定され、前記前坪の下端部が、前記上層段ボールを貫通しつつ前記中層段ボールに前記所定の固定手段によって固定されている請求項1に記載の草履。
- [請求項3] 前記上層段ボールが、1枚の上層両面段ボールであり、前記中層段ボールが、上下方向へ重なり合う3枚の第1～第3中層両面段ボールであり、前記下層段ボールが、1枚の下層両面段ボールであり、前記上層両面段ボールのライナーの下面と前記第1中層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着され、前記第1中層両面段ボールのライナーの下面と前記第2中層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着され、前記第2中層両面段ボールのライナーの下面と前記第3中層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着され、前記第3中層両面段ボールのライナーの下面と前記下層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着されている請求項2に記載の草履。
- [請求項4] 前記草履では、前記上層両面段ボールの目方向と前記第1中層両面

段ボールの目方向とが交差した状態で該上層両面段ボールと該第 1 中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、前記第 1 中層両面段ボールの目方向と前記第 2 中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第 1 中層両面段ボールと該第 2 中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っているとともに、前記第 2 中層両面段ボールの目方向と前記第 3 中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第 2 中層両面段ボールと該第 3 中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、前記第 3 中層両面段ボールの目方向と前記下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第 3 中層両面段ボールと該下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っている請求項 3 に記載の草履。

[請求項5] 前記草履では、前記上層両面段ボールの面積と前記下層両面段ボールの面積とが前記中層両面段ボールの面積よりも小さく、前記中層両面段ボールの周縁部が前記上層両面段ボールおよび前記下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している請求項 4 に記載の草履。

[請求項6] 前記草履では、前記第 1 中層両面段ボールの面積と前記第 3 中層両面段ボールの面積とが前記第 2 中層両面段ボールの面積よりも小さく、前記第 2 中層両面段ボールの周縁部が前記第 1 中層両面段ボールおよび前記第 3 中層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している請求項 5 に記載の草履。

[請求項7] 前記上層両面段ボールのライナーの上面と前記下層両面段ボールのライナーの下面とのうちの少なくとも該上層両面段ボールのライナーの上面には、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が施されている請求項 3 ないし請求項 6 いずれかに記載の草履。

[請求項8] 前記上層段ボールが、上下方向へ重なり合う 2 枚の第 1 および第 2 上層両面段ボールであり、前記中層段ボールが、上下方向へ重なり合う 2 枚の第 1 および第 2 中層両面段ボールであり、前記下層段ボールが、上下方向へ重なり合う 2 枚の第 1 および第 2 下層両面段ボールであり、前記第 1 上層両面段ボールのライナーの下面と前記第 2 上層両

面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着され、前記第2上層両面段ボールのライナーの下面と前記第1中層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着され、前記第1中層両面段ボールのライナーの下面と前記第2中層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着されているとともに、前記第2中層両面段ボールのライナーの下面と前記第1下層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着され、前記第1下上層両面段ボールのライナーの下面と前記第2下層両面段ボールのライナーの上面とが、前記所定の固着手段によって固着されている請求項2に記載の草履。

[請求項9] 前記草履では、前記第1上層両面段ボールの目方向と前記第2上層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第1上層両面段ボールと該第2上層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、前記第2上層両面段ボールの目方向と前記第1中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第2上層両面段ボールと該第1中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、前記第1中層両面段ボールの目方向と前記第2中層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第1中層両面段ボールと該第2中層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っているとともに、前記第2中層両面段ボールの目方向と前記第1下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第2中層両面段ボールと該第1下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合い、前記第1下層両面段ボールの目方向と前記第2下層両面段ボールの目方向とが交差した状態で該第1下層両面段ボールと該第2下層両面段ボールとが上下方向へ重なり合っている請求項8に記載の草履。

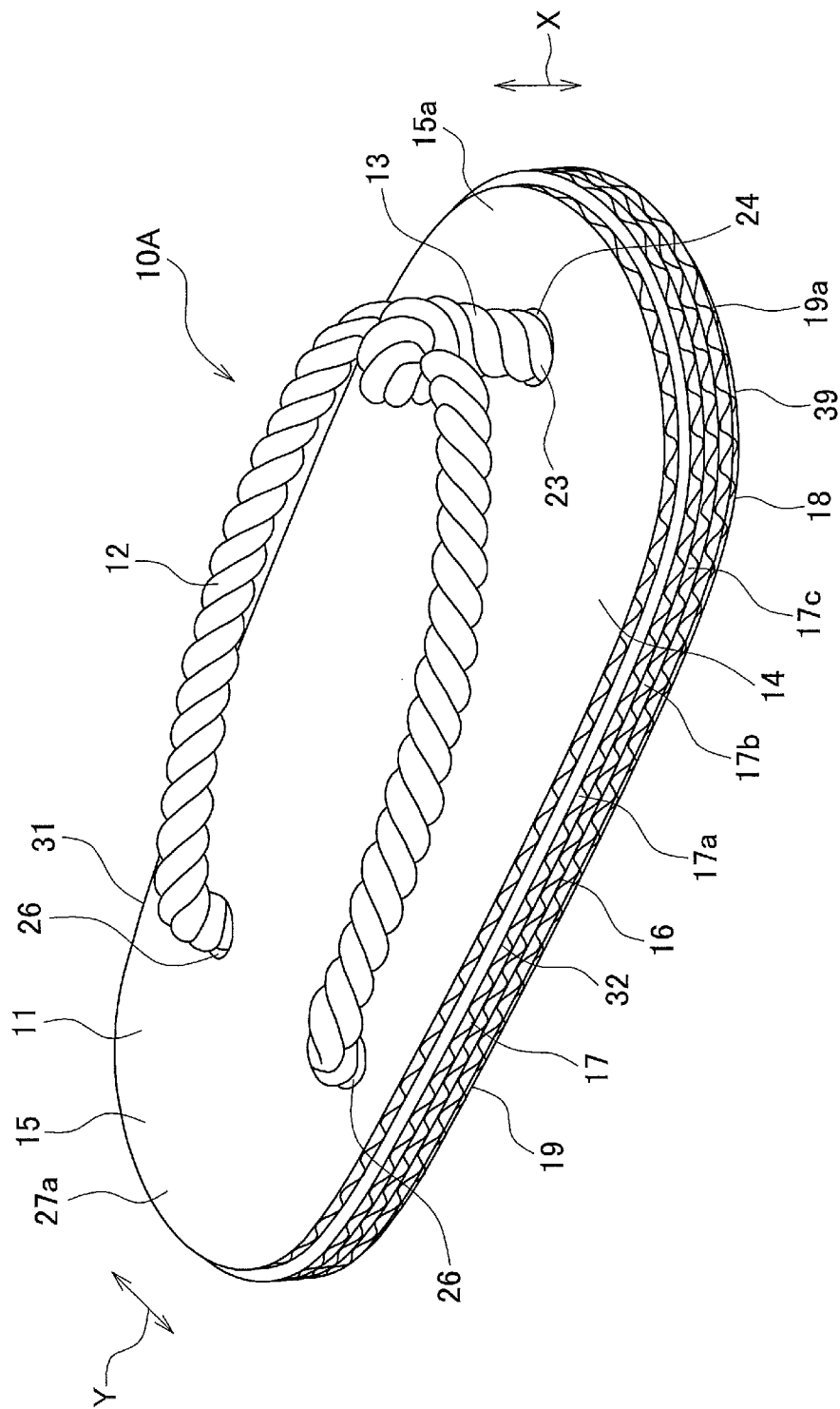
[請求項10] 前記草履では、前記第1および第2上層両面段ボールの面積と前記第1および第2下層両面段ボールの面積とが前記第1および第2中層両面段ボールの面積よりも小さく、前記第1および第2中層両面段ボールの周縁部が前記第1および第2上層両面段ボールおよび前記第1

および第 2 下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している請求項 9 に記載の草履。

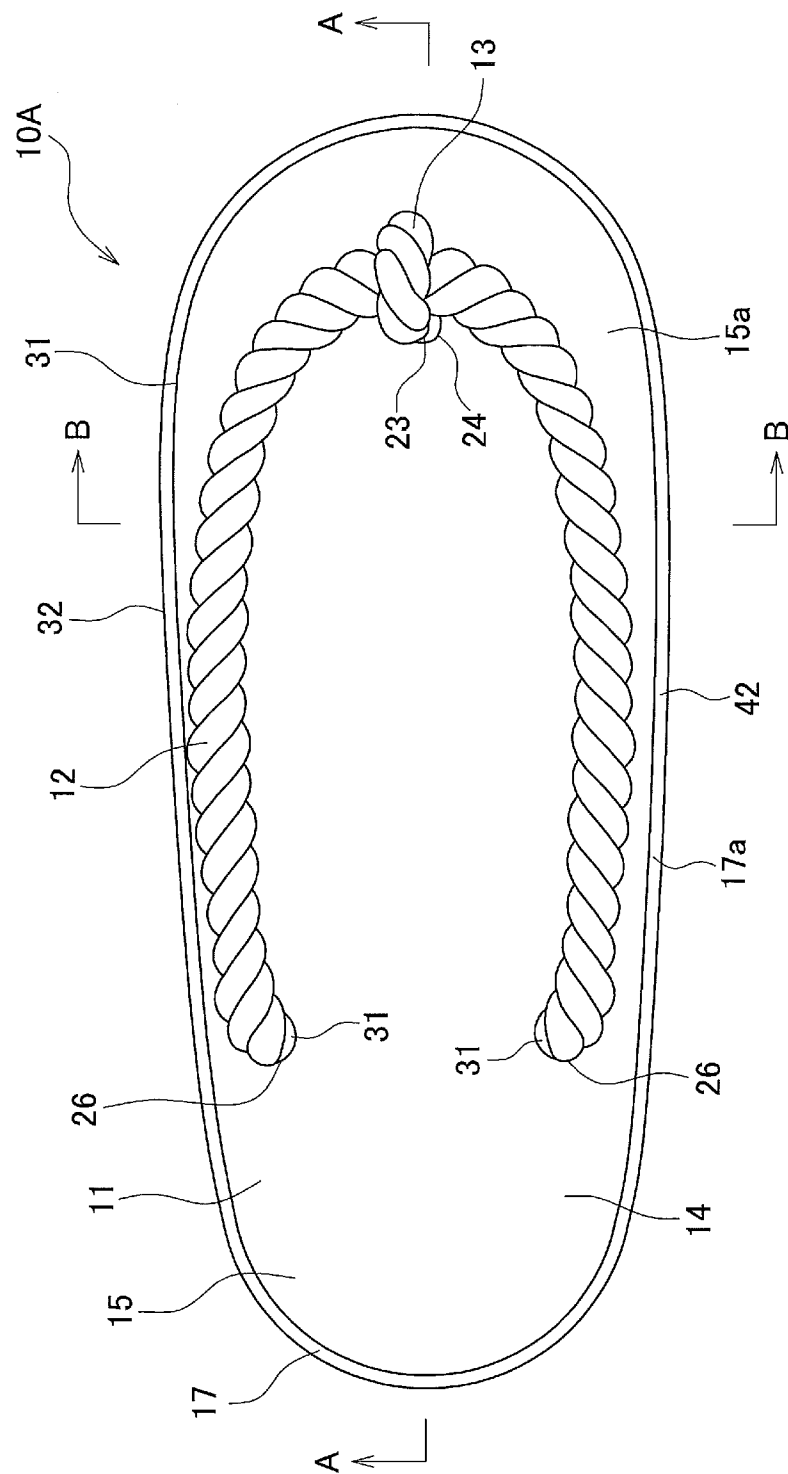
[請求項11] 前記草履では、前記第 1 上層両面段ボールの面積が前記第 2 上層両面段ボールの面積よりも小さく、前記第 2 下層両面段ボールの面積が前記第 1 下層両面段ボールの面積よりも小さく、前記第 2 上層両面段ボールの周縁部が前記第 1 上層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出し、前記第 1 下層両面段ボールの周縁部が前記第 2 下層両面段ボールの周縁から径方向外方へ延出している請求項 10 に記載の草履。

[請求項12] 前記第 1 上層両面段ボールのライナーの上面と前記第 2 下層両面段ボールのライナーの下面とのうちの少なくとも該第 1 上層両面段ボールのライナーの上面には、防水加工と防滑加工とのうちの少なくとも一方が施されている請求項 8 ないし請求項 11 いずれかに記載の草履。

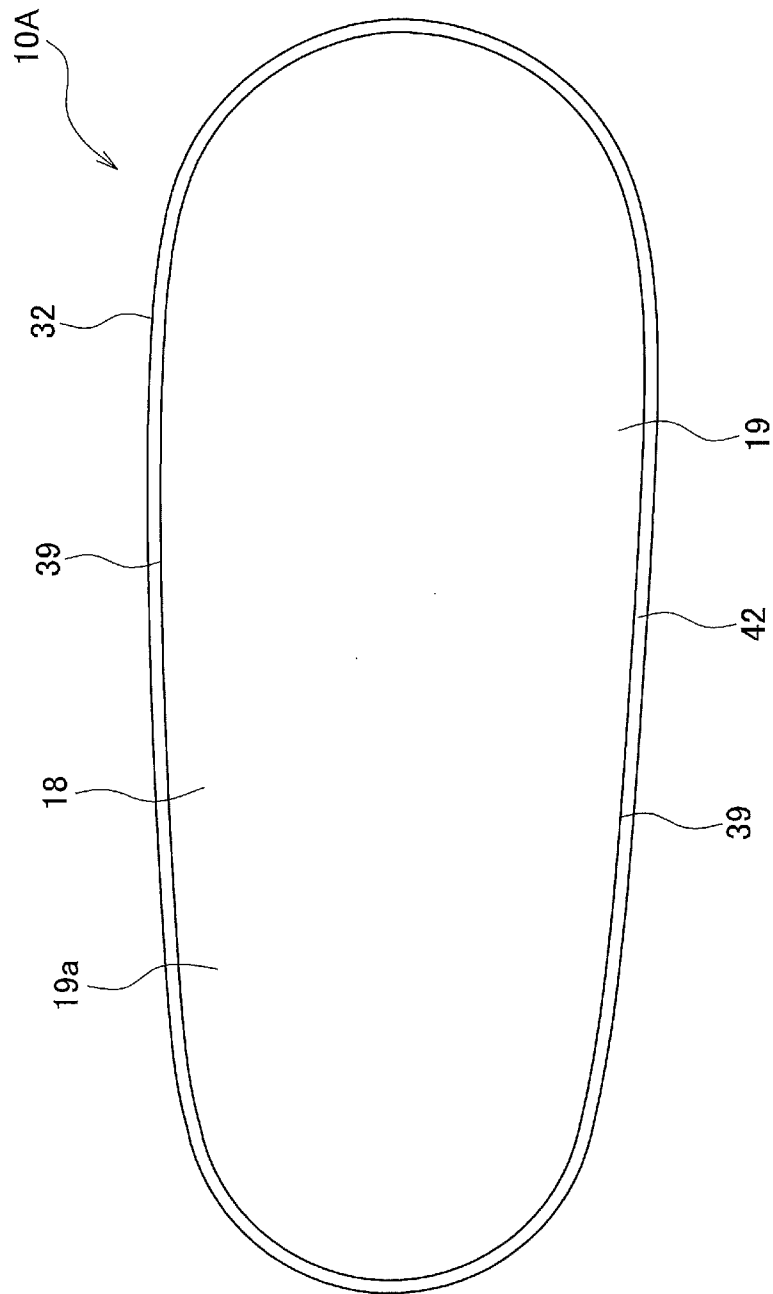
[図1]



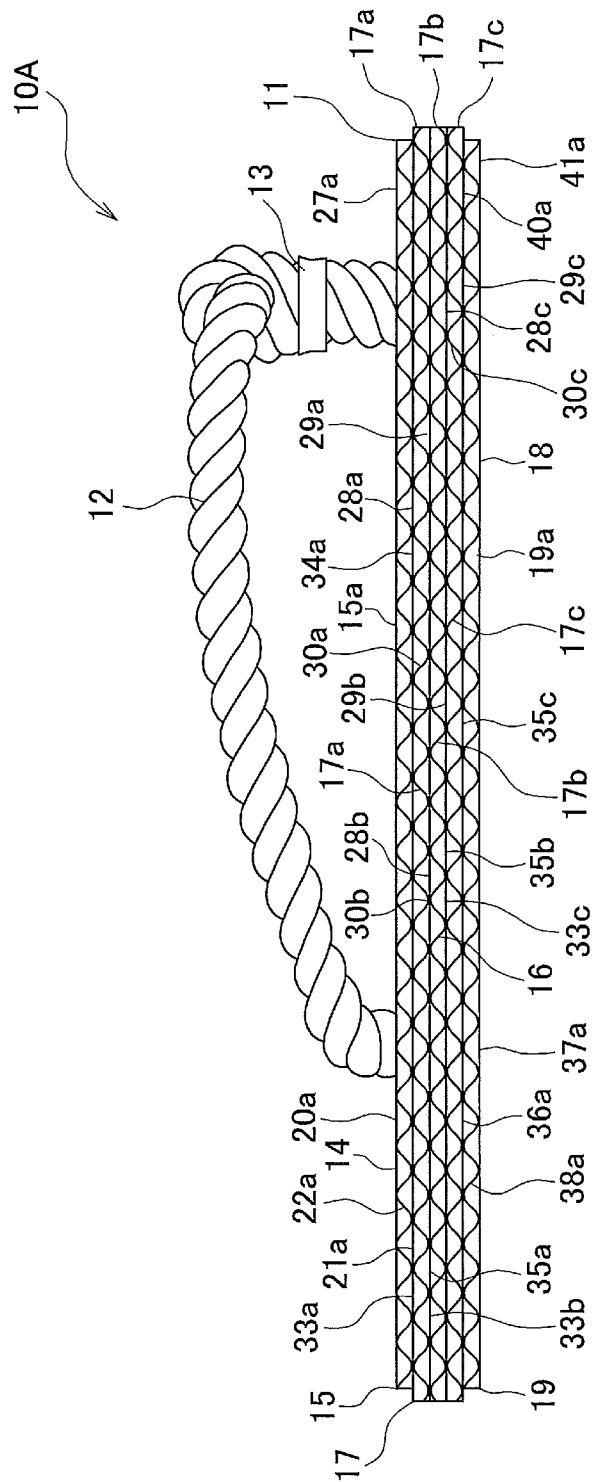
[図2]



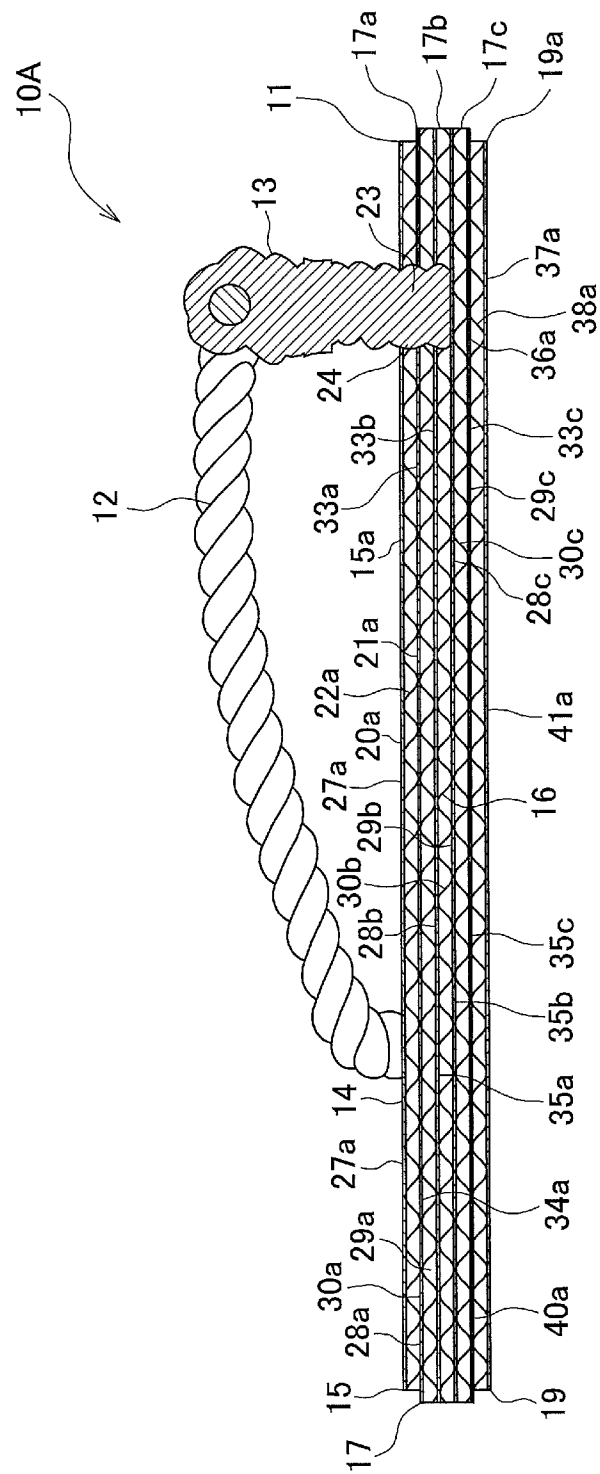
[図3]



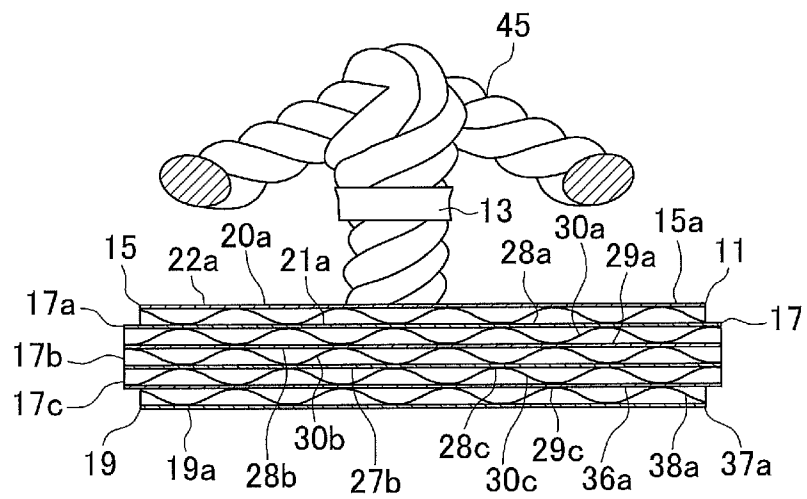
[図4]



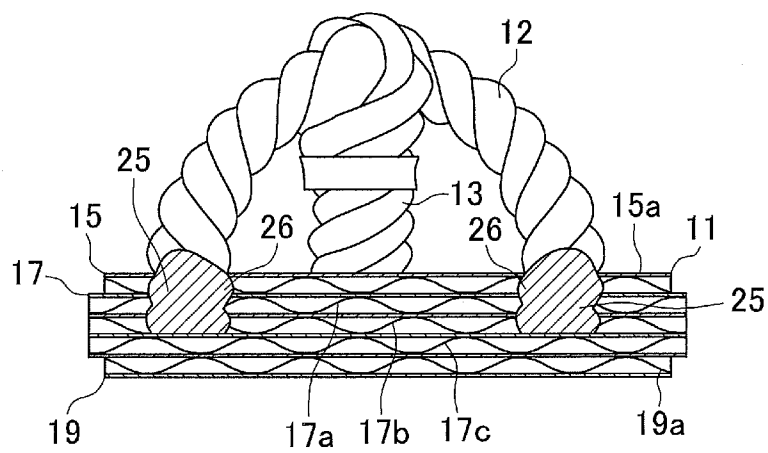
[図5]



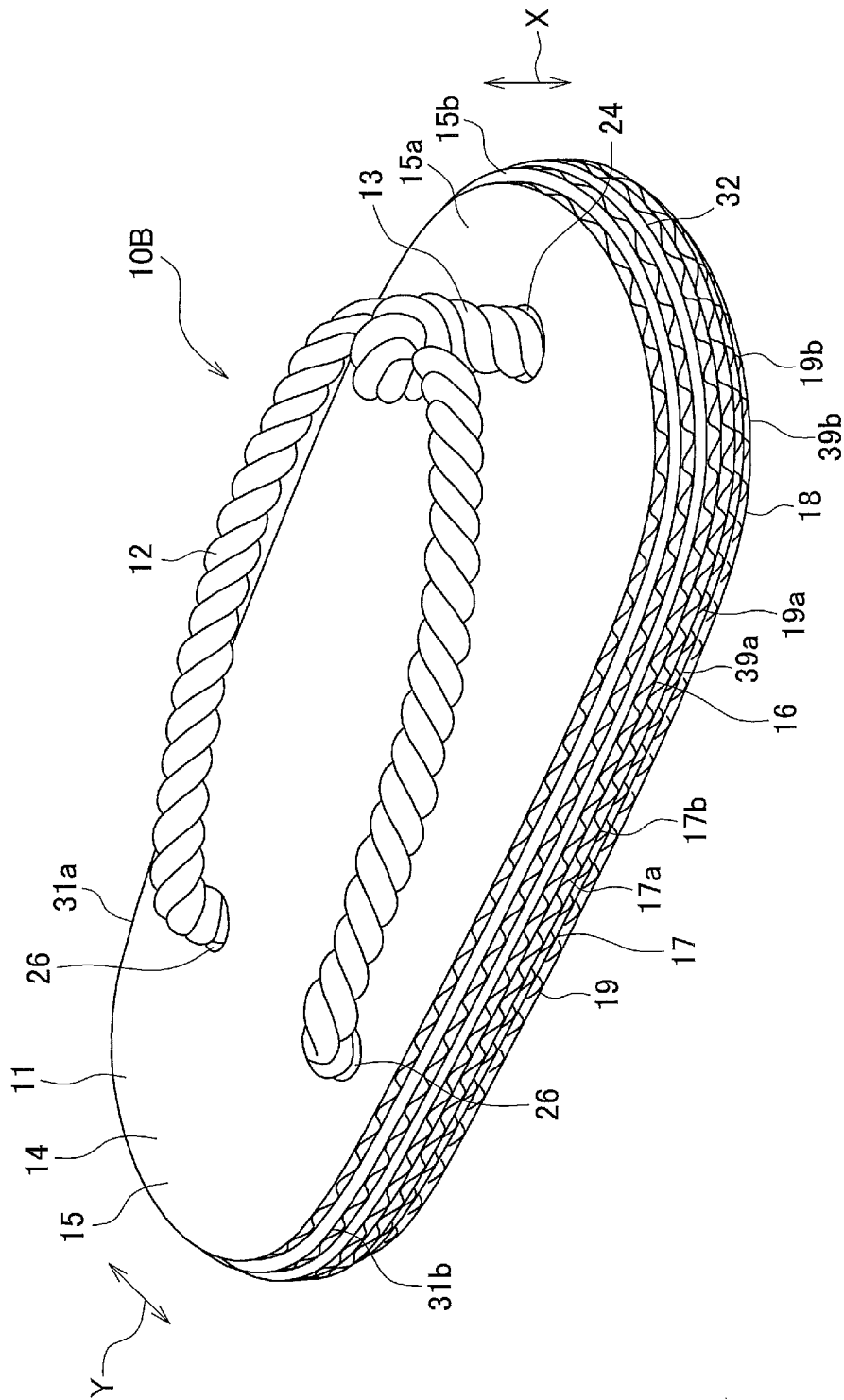
[図6]



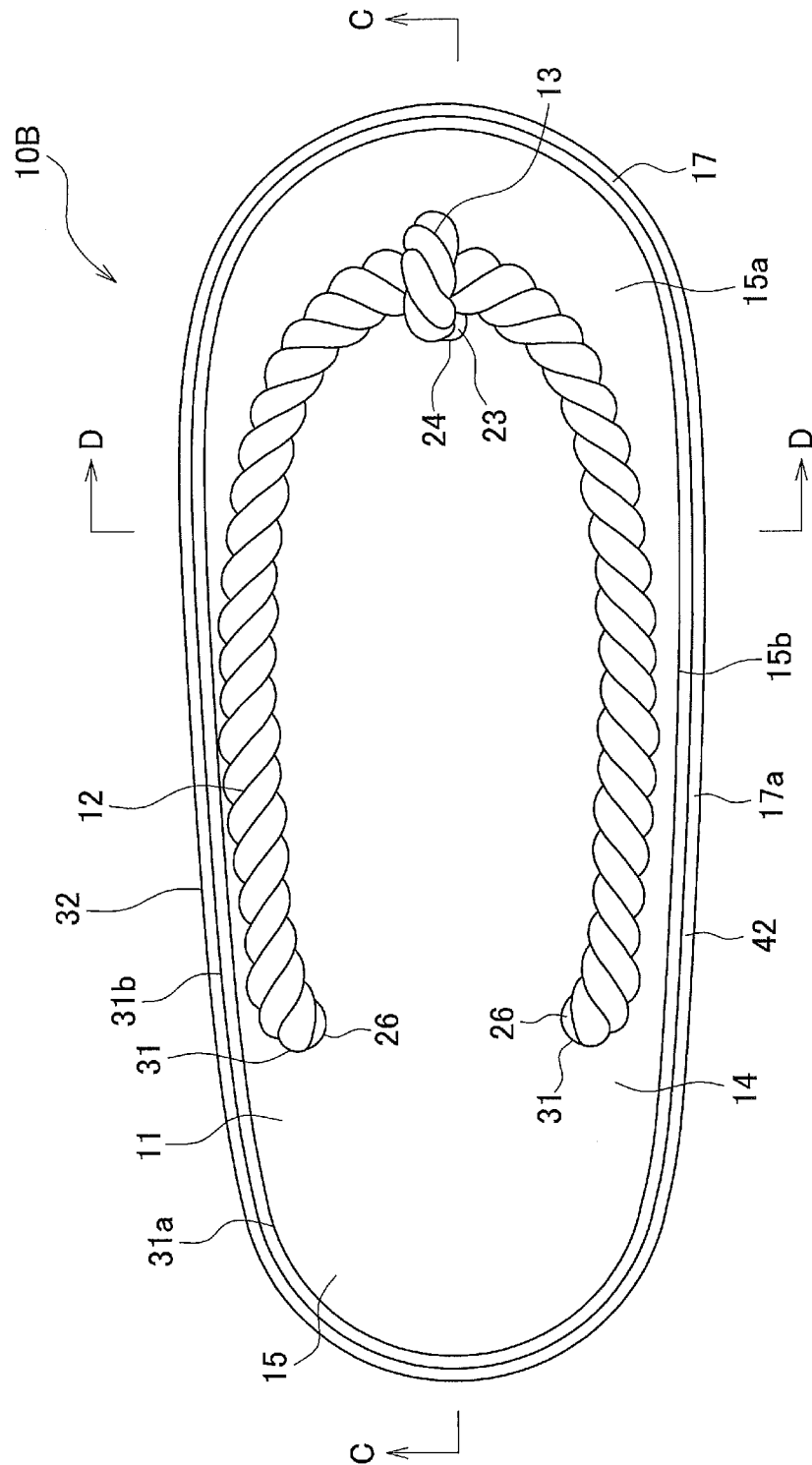
[図7]



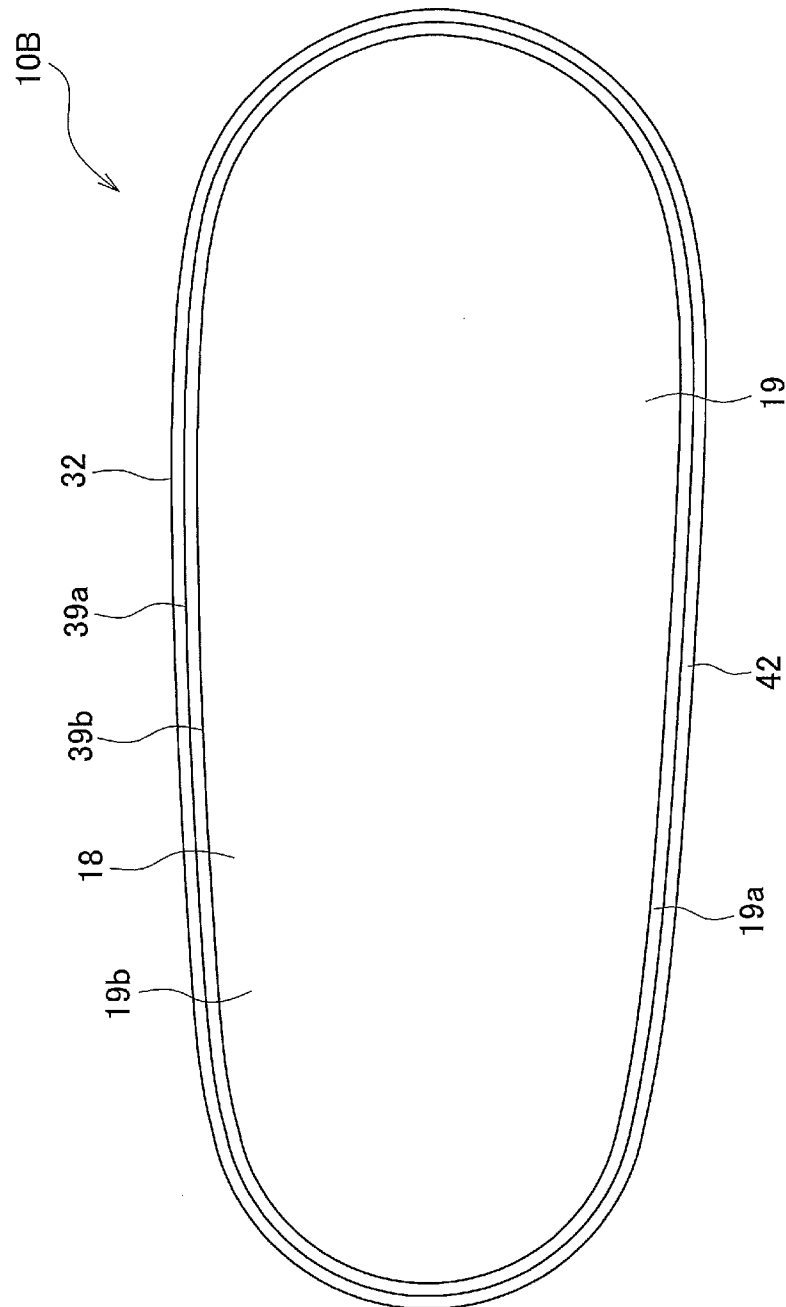
[図8]



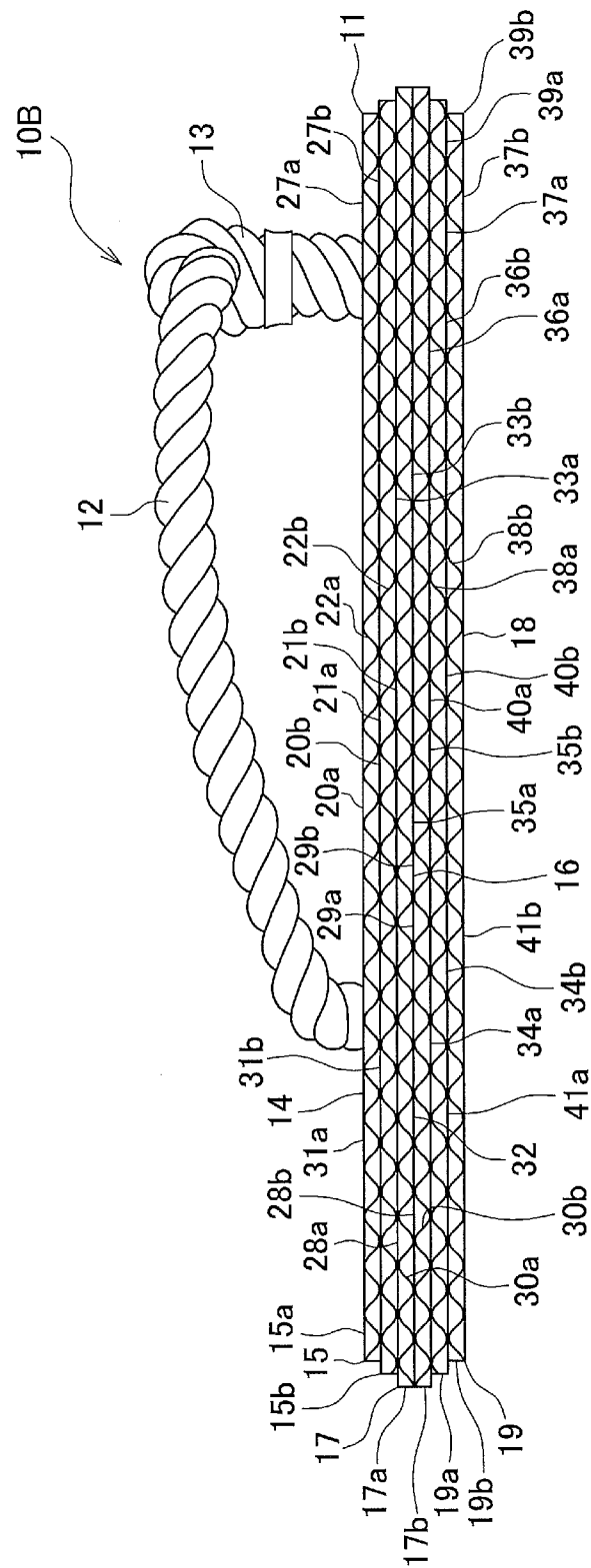
[図9]



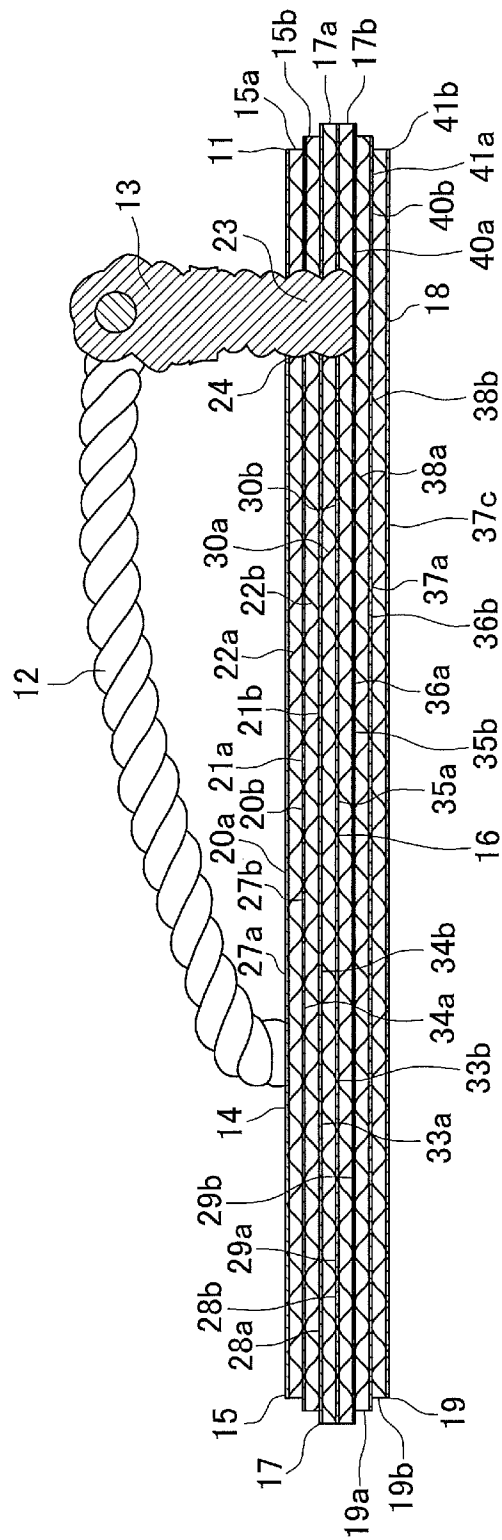
[図10]



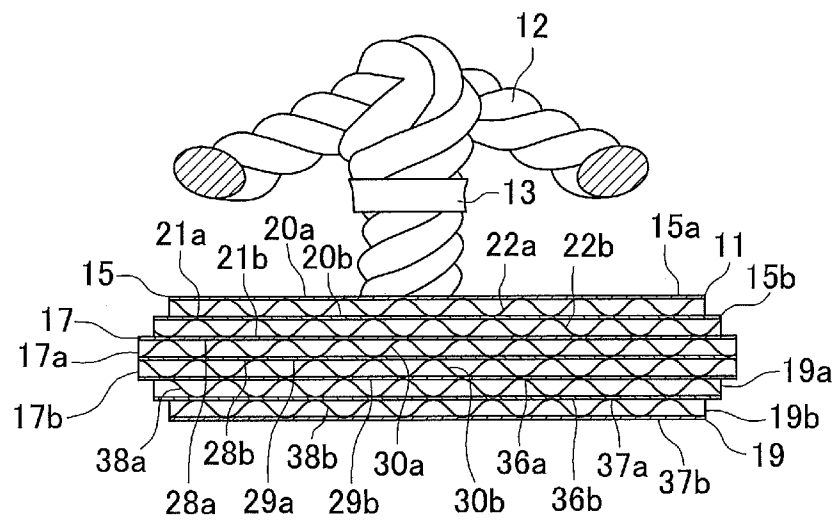
[図11]



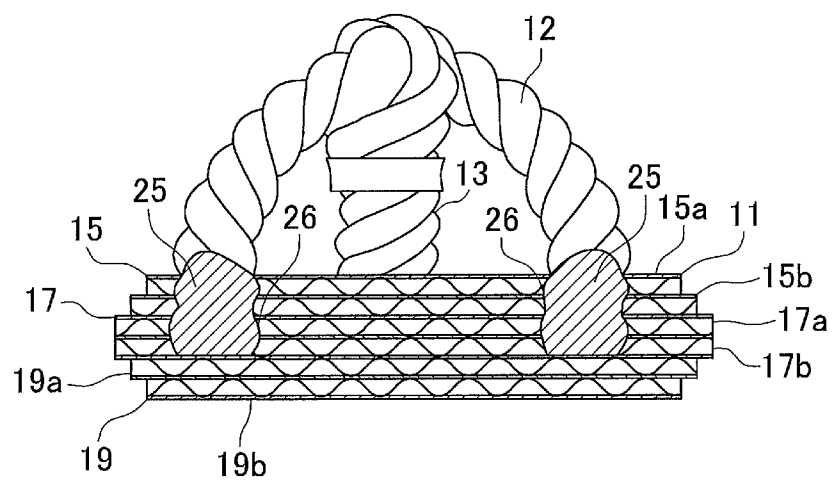
[図12]



[図13]



[図14]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2019/013623

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl. A43B3/00 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl. A43B1/00-23/30, A43C1/00-19/00, A43D1/00-999/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2019
Registered utility model specifications of Japan	1996-2019
Published registered utility model applications of Japan	1994-2019

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 029997/1975 (Laid-open No. 110749/1976) (ENDOSHOTEN KK) 07 September 1976, specification, page 3, line 5 to page 4, line 11, fig. 1-4 (Family: none)	1 2-12
Y	JP 2002-45202 A (MORITA, Hiroo) 12 February 2002, paragraph [0019], fig. 2-4 (Family: none)	1
A	JP 2010-148636 A (IKEDA, Takuro) 08 July 2010, paragraphs [0014]-[0025], fig. 1-7 (Family: none)	1-12

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

25 June 2019 (25.06.2019)

Date of mailing of the international search report

09 July 2019 (09.07.2019)

Name and mailing address of the ISA/

Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. A43B3/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int.Cl. A43B1/00-23/30, A43C1/00-19/00, A43D1/00-999/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2019年
日本国実用新案登録公報	1996-2019年
日本国登録実用新案公報	1994-2019年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	日本国実用新案登録出願50-029997号(日本国実用新案登録出願公開51-110749号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (有限会社 遠藤商店) 1976.09.07, 明細書第3ページ第5行-第4ページ第11行, 第1-4図 (ファミリーなし)	1 2-12
Y	JP 2002-45202 A (森田 啓夫) 2002.02.12, 段落[0019], 図2-4 (ファミリーなし)	1

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

25.06.2019

国際調査報告の発送日

09.07.2019

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

片岡 弘之

3 K

1184

電話番号 03-3581-1101 内線 3332

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2010-148636 A (池田 卓朗) 2010.07.08, [0014]-[0025], 図 1-7 (ファミリーなし)	1-12